

「路線価等業務管理システム」活用の手引き

目 次

第1章 状況類似地域の区画線を引く（状況類似地区の区画線を含む）

- 1 新規に状況類似地域の区画線を引く 1
 - (1) 新規に状況類似地域の区画線を引く 1
 - (2) 既存の状況類似地域に隣接した新たな状況類似地域の区画線を引く 5
- 2 既存の状況類似地域の区画を変更、修正する 10
 - (1) 区画を変更する 10
 - (2) 状況類似地域の中に別の状況類似地域を作成する 24
 - (3) 状況類似地域を分割する 26
 - (4) 複数の状況類似地域をひとつに統合する 31
- 3 状況類似地域番号の表示位置を移動する 35
- 4 状況類似地域の区画線を削除する 37

第2章 路線価線を引く

- 1 新規に路線価線を引く 39
- 2 既存の路線価線の形状を変更、修正する 42
 - (1) 長さや角度を変更する 42
 - (2) 枝分かれさせた路線価線を引く 50
 - (3) 既存の路線価線と同じ路線価番号の路線価線を引く 52
- 3 路線価線を全体的に移動する 54
 - (1) 路線価線を全体的に移動する 54
 - (2) 路線価番号及び路線価の表示位置（文字表示の位置）を移動する 56
- 4 路線価線を削除する 58

第3章 標準宅地を登録する

- 1 新規に標準宅地を登録する 61
- 2 既存の標準宅地を移動する 64
 - (1) 標準宅地を全体的に移動する 64
 - (2) 標準宅地の位置（○印）を移動する 66
 - (3) 標準宅地番号及び価格の表示位置を移動する 68
- 3 標準宅地を削除する 70

第1章 状況類似地域の区画線を引く(状況類似地区の区画線を含む)

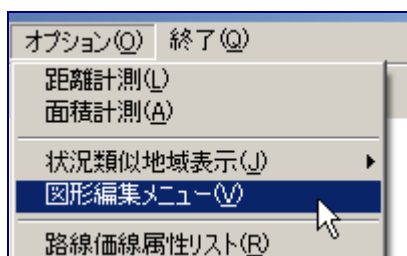
市街地宅地評価法における「状況類似地域」の区画線を引く方法と、その他の宅地評価法における「状況類似地区」の区画線を引く方法は同じです。

そのため、以下の説明中「状況類似地域」とあるのは、その他の宅地評価法適用地域にあっては、「状況類似地区」と読み替えて下さい。

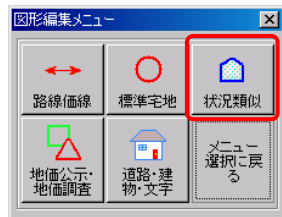
1 新規に状況類似地域の区画線を引く

(1) 新規に状況類似地域の区画線を引く

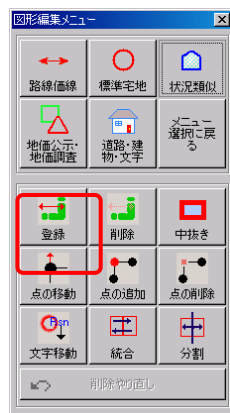
① 状況類似地域の区画線を引きたい場所の地図を表示してください。



② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。



④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[登録]を左クリックしてください。

⑤ [状況類似地域属性]ウィンドウが開きます。

まず、[状況類似地域番号]を入力してください。次に、[用途地区]を入れる欄の右側にある[▼]を押してください。下のほうに用途地区の種類が現れますので、その中から選択してください。

以上の二つは必ず入力してください。

その後、必要に応じて[時点修正率1]、[時点修正率2]、[時点修正率3]を入力してください。

以上が終わったら[登録]ボタンを左クリックしてください。

ここまでの作業を済ませると、地図上に状況類似地域の区画線を入力できる状態になります。

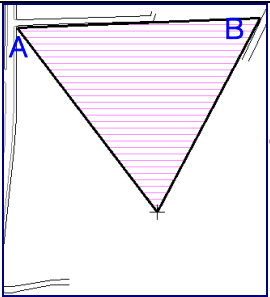
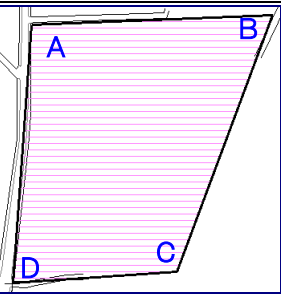
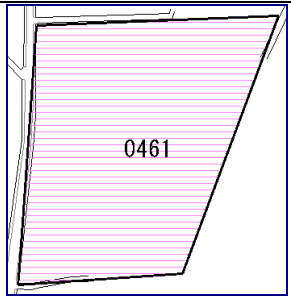
注意

※同じ番号の状況類似地域が存在する場合




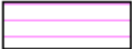


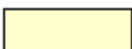



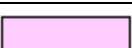

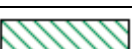

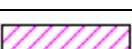

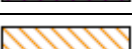



[入力された番号は既に登録されています。同一番号で登録しますか？]とダイアログが表示されます。同じ番号で良い場合は[はい]を、番号を入力し直したい場合は[いいえ]を左クリックしてください。

同一番号にした場合、自動的に[用途地区]は既存の同一番号の状況類似地域と同じ設定となります。これでよければ、「同一番号登録」をクリックしてください。

- ⑥ 地図上で、状況類似地域の区画線の始点(A)にする場所を左クリックします。区画線の頂点になる点を次々に左クリックします。最後の頂点となる点でダブルクリックをします。
- 入力中に1つの前の点に戻りたいときは、右クリックしてください。

		
2点目を入力すると、⑤で選択した用途地区に従って状況類似地域面が表示されます。	続けて点Cを左クリックして、最後の点Dでダブルクリックします。	状況類似地域の区画線が完成します。

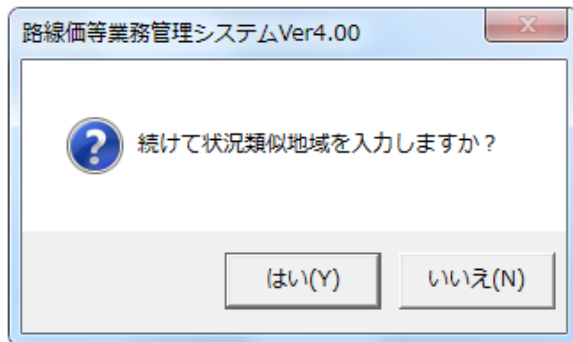
※用途地区ごとの状況類似地域面は、以下のとおり表示されます。

繁華街		高度商業Ⅰ	
高度商業Ⅱ		普通商業	
高級住宅		普通住宅	
併用住宅		大工場	
中小工場		家内工業	
観光		散在	
村落		集落	
商業		集団	
その他		調整区域	
ビル街		高度商業	

- ⑦ 画面下のメッセージエリアに[この図形を登録しますか?]と表示されます。決定する場合は左クリック、キャンセルしたい場合は右クリックしてください。

この図形を登録しますか? 左クリック: 決定 / 右クリック: キャンセル

- ⑧ [続けて状況類似地域を入力しますか?]\と画面に表示されます。入力をする場合は[はい]を、入力を終了する場合は[いいえ]を左クリックしてください。



- ⑨
- ⑩ ⑧で[はい]をクリックした場合は、続けて状況類似地域を入力することができます。
⑤以降の操作を繰り返してください。
[いいえ]を左クリックした場合は状況類似地域の入力が終了します。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似地域]の[新規]をクリックして、⑤以降の操作を行ってください。

注意

※状況類似地域属性の「主要な街路の路線価番号」について

状況類似地域の区画線を引いただけの状態では、「主要な街路の路線価番号」は未入力となっています。

当該状況類似地域内に新たに「主要な街路」を引いた場合は、状況類似地域属性の「主要な街路の路線価番号」欄には自動的に、当該「主要な街路の路線価番号」が入力されます。

また、当該状況類似地域内に既に「主要な街路」が引かれている場合には、状況類似地域属性変更の画面から、当該「主要な街路の路線価番号」を入力してください。

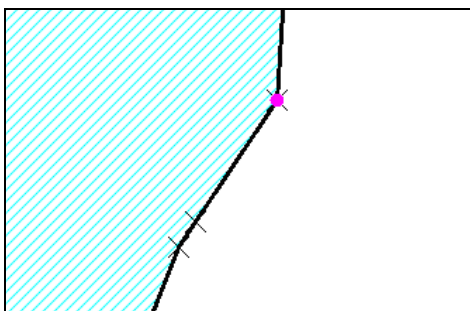
(2) 既存の状況類似地域に隣接した新たな状況類似地域の区画線を引く

既存の状況類似地域に隣接した状況類似地域の区画線を新規に引く場合、既存の状況類似地域の区画線を利用することにより、より簡単に、正確に区画線を引くことができます。

既存の状況類似地域の区画線を利用するといっても、新規に状況類似地域の区画線を引くことに変わりはありません。したがって、(1)の手順によることが基本ですが、次のような2つの便利な機能を使うことによって、区画線を引く手間を省き、より正確に入力することができます。

なお、これらの機能を使用するには、(1)の①から⑤までの操作をしてください。ここまでの操作が終わると、地図上に区画線を入力できる状態になります。既存の区画線上の頂点は「×」印で表示されます。

① 既存の区画線上の点を簡単に指定できる機能



既存の区画線の近くを左クリックすると、クリックした点に近い既存の区画線上の頂点（頂点がない場合は最も近い区画線上の点）がピンク色で表示されます。

このピンク色で表示された点が目的の点であれば、もう一度左クリックをすることで、その点の位置の選択を確定できます。もし、目的の点でなければ、二度右クリックしてキャンセルすることができます。

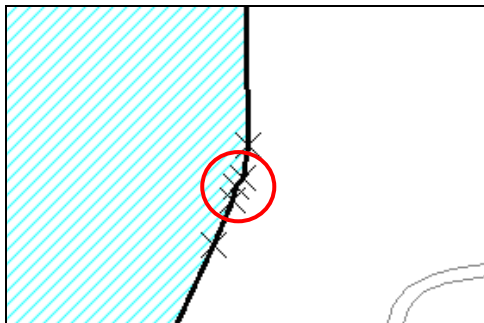
※既存の区画線の近くを左クリックするとそのクリックした点に近い既存の区画線上の点がピンク色で表示されます。これは、既存の区画線上の点が指定されたことを保障しますが、既存の区画線上で正確な位置が指定されたことを保障するものではありません。ですから、ピンク色で表示されたことで安心せず、位置決定は十分注意して行ってください。

注意

※既存の区画線上の点または既存の区画線上に任意に設定した点で、入力を終了する場合
既存の区画線上の点を利用したり、既存の区画線上の任意に設定した点を利用した場合、画面下のメッセージエリアに「ENTER: 入力完了」と表示されます。

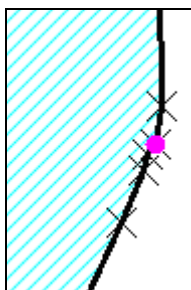
通常、図形入力最後の点では、ダブルクリックで確定しますが、既存の区画線上の点や既存の区画線上の任意の点で終了する場合は、「ENTER」キーを押して確定します。

※左クリックした点の近くに複数の頂点がある場合

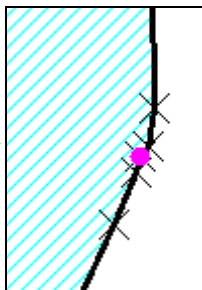


左図のように、頂点が近接している場所では、目的の頂点をクリックしたつもりでも、他の頂点が選択される場合があります。

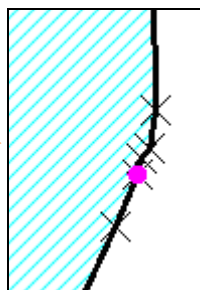
違う頂点が選択された場合は右クリックでキャンセルすると、次の候補の頂点がピンク色に変化します。目的の頂点がピンク色に変化するまでこの操作を続けてください。



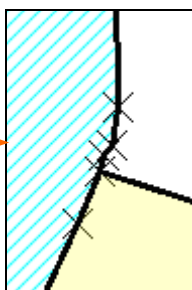
右クリックで
キャンセル



右クリックで
キャンセル



左クリックで決定



既存の頂点を
利用して入力

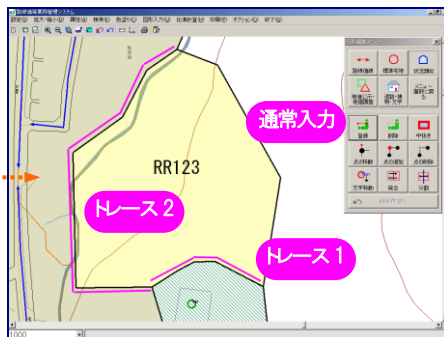
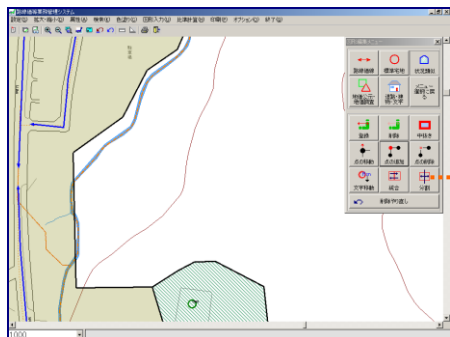
既存の状況類似地域の区画線を利用する際に、複数の頂点を連続して利用する場合は、上記のように1点ずつ選択するよりも、次の既存の区画線そのものを指定できる機能を使うと操作が簡単です。

P7「②既存の区画線そのものを指定できる機能」を参照してください。

② 既存の区画線そのものを指定できる機能

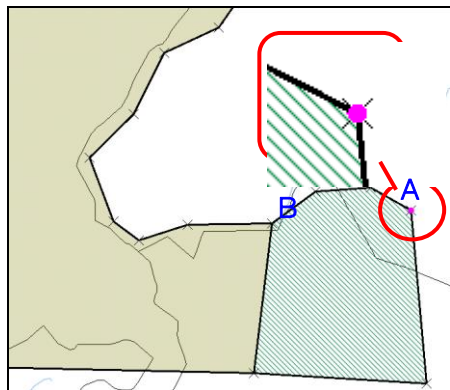
状況類似地域を新規に入力する際に、隣接する状況類似地域の区画線を利用して、簡単に区画線を引くことができます。このような機能のことを「自動トレース」機能といいます。

区画線上の複数の頂点を連続してトレースする場合に、自動トレース機能を使うと操作が簡単です。自動トレース機能は、スペースキーに割り当てられています。

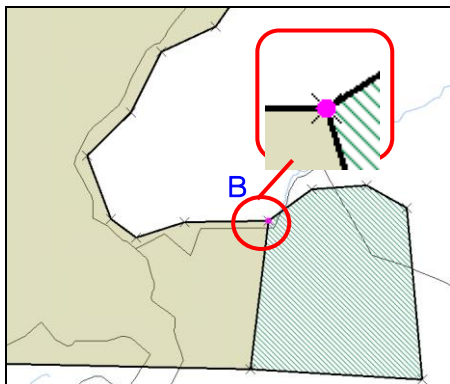


※トレース機能は、既に作成されている状況類似地域の区画線を利用して引きます。複数の状況類似地域を利用してトレースしたい場合は、まず、第1の状況類似地域の区画線の指定を行い、続いて第2の状況類似地域の区画線の指定を行います。

上記の場合の操作手順を以下に説明します。

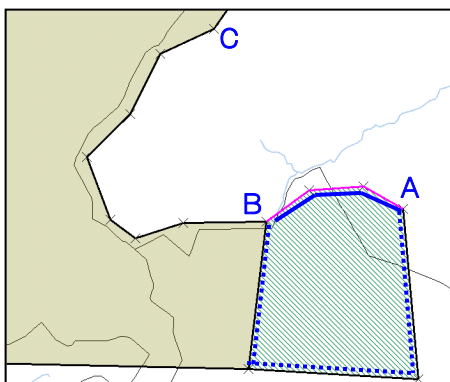


ア 新たな状況類似地域の区画線の一部が、隣接する既存の状況類似地域の区画線と一致する場合は、その一致する部分を指定します。左の図でAの点をクリックし、次にBの点をダブルクリックします。

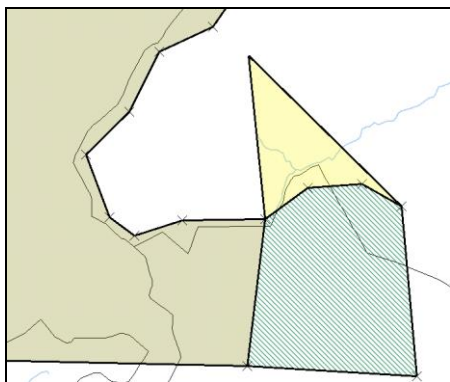


イ トレースを終了する位置でダブルクリックしてください。(トレースは既に作成されている状況類似地域ごとに指定します。)

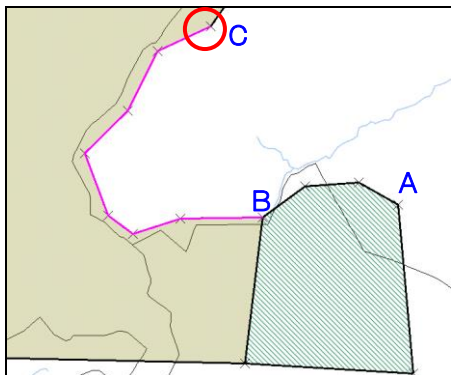
Bの点から先は別の状況類似地域ですので、この点でいったん終了させます。



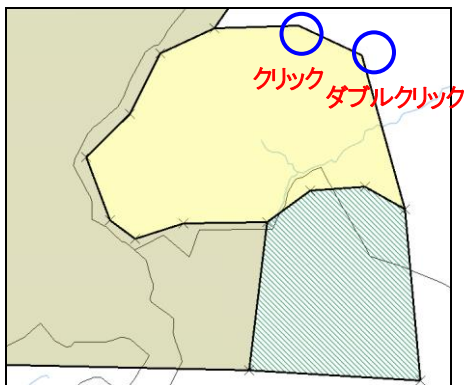
ウ [スペース]キーを押すと、Aの点とBの点を結ぶ短い方の区画線がピンク色で表示され、再度[スペース]キーを押すと、Aの点とBの点を結ぶ長い方の区画線がピンク色で表示されます。左の図の場合、[スペース]キーを押した時にピンク色になるのは実線の部分で、再度[スペース]キーを押した時にピンク色になるのは点線の部分です。意図する方がピンク色になっている状態で左クリックします。



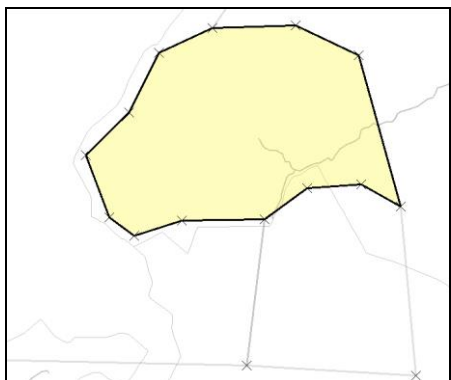
エ 以上で、既に作成されている状況類似地域の区画線のひとつがトレースされます。



オ 続けて、次の既に作成されている状況
類似地域の区画線上のCの点を左クリ
ックします。
この時、Bの点の指定は引き継がれます
ので、Cの点のみの指定で済みます。



カ トレースしない場所で区画線の頂点とな
る点を左クリックします。
最後の頂点となる点でダブルクリックし
ます。



キ 画面下のメッセージエリアに[この図形
を登録しますか?]&表示されます。決
定する場合は左クリック、キャンセルす
る場合は右クリックしてください。

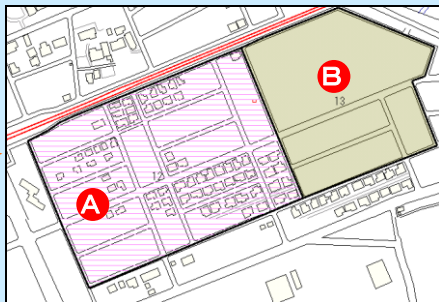
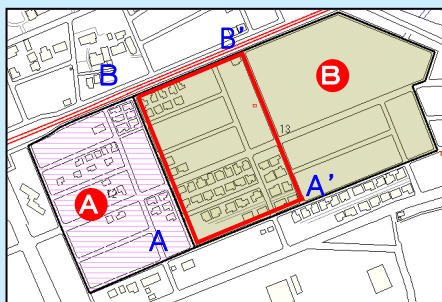
注意

※トレース後に、右クリックで入力をキャンセルした場合、1つ前の区画線の点に戻ります。ト
レースを開始した位置まで戻るには、次々に右クリックしてください。

2 既存の状況類似地域の区画を変更、修正する

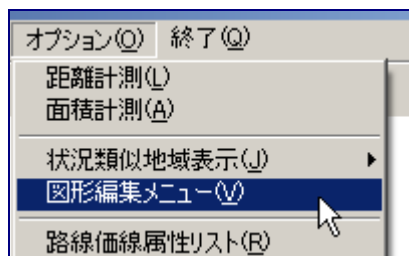
(1) 区画を変更する

- 左図のような状況類似地域を右図のような状況類似地域へと変更する(左図の赤線で囲まれた部分を状況類似地域 **B** から **A** に変更する)。



上図のように変更するには、Aの点をA'の点に、Bの点をB'の点に移動します。具体的には以下のようにします。

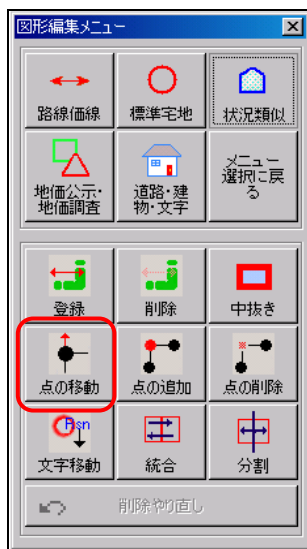
- ① 状況類似地域の区画を変更したい場所の地図を表示してください。



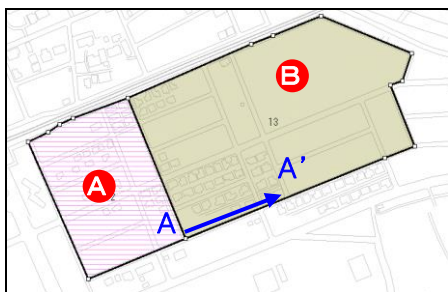
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



- ③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。

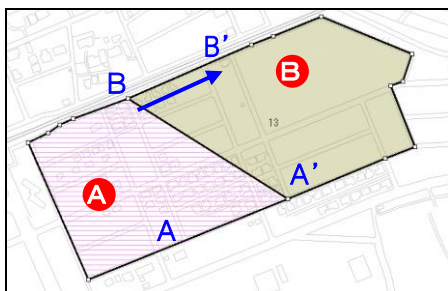


- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが表示されますので、その中から[点の移動]を左クリックしてください。

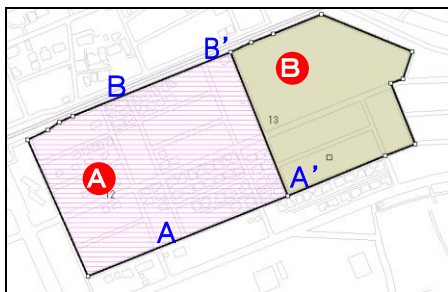


- ⑤ Aの点を左クリックしてください。この点はAの状況類似地域の点であるとともに、Bの状況類似地域の点でもありますので、画面下のメッセージエリアに「指定した範囲に点が2つあります。移動方法を選択してください。」と表示されます。

この場合は、A と B 両方の状況類似地域の点を移動しますので、左クリックして[全体移動]を選択します。



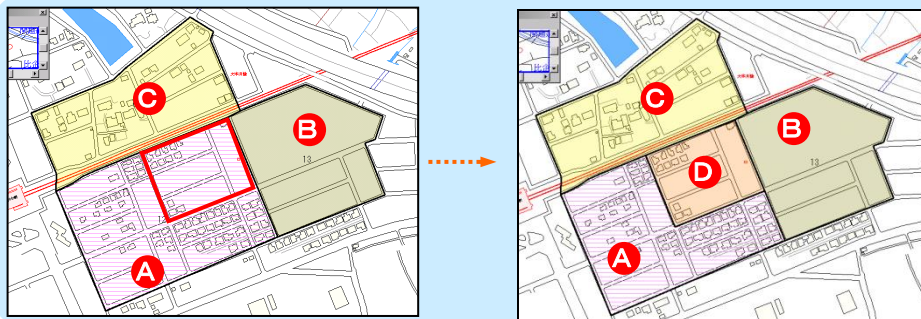
- ⑥ A'の位置(点の移動先)で左クリックしてください。
図のように A、B 両方の状況類似地域の形状が変わります。
- ⑦ 続けて B の点をクリックしてください⑤と同様に画面下のメッセージエリアに「指定した範囲に点が2つあります。移動方法を選択してください。」と表示されますので、左クリックして[全体移動]を選択します。



- ⑧ B'の位置(点の移動先)で左クリックしてください。
図のようにA、B両方の状況類似地域の形状が変わります。
- ⑨ 右クリックすると完成します。

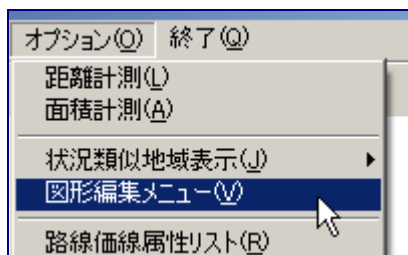
※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似地域]の[変更]の[点移動]をクリックして、⑤以降の操作を行ってください。

■ 左図のような状況類似地域を右図のような状況類似地域へと変更する(左図の赤線で囲まれた部分を新しい状況類似地域 **D** とする)。



点を移動することにより状況類似地域 **D** を追加することができます。具体的には以下のようになります。

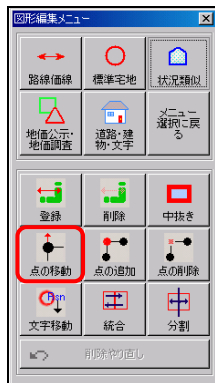
① 状況類似地域を新たに追加したい場所の地図を表示してください。



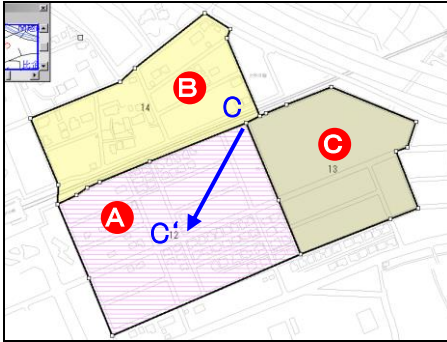
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。

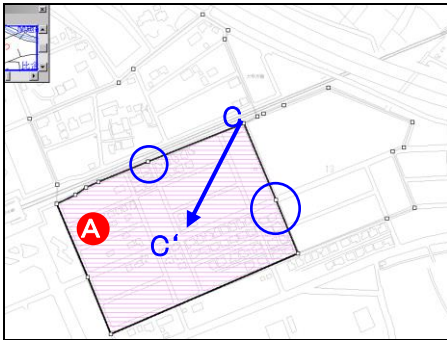


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが表示されますので、その中から[点の移動]を左クリックしてください。



- ⑤ Cの点を左クリックしてください。この点は **A** の状況類似地域の点であるとともに、**B** および **C** の状況類似地域の点でもあります。画面下のメッセージエリアに「指定した範囲に点が3つあります。移動方法を選択してください。」と表示されます。

この場合は、**A** の状況類似地域の点のみを移動しますので、右クリックして「点を選択」を選択します。

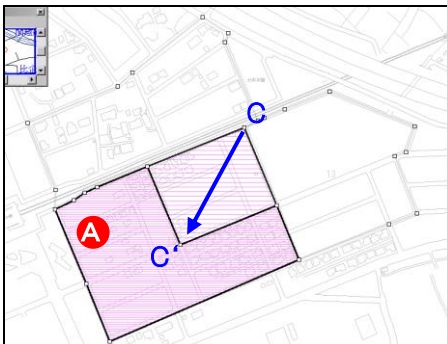


- ⑥ Cの点を使用している状況類似地域のいずれかが強調表示されます。**A** の状況類似地域が強調表示されるまで、右クリックで次の図形を選択してください。**A** の状況類似地域が強調表示された状態で左クリックして、図形を決定します。

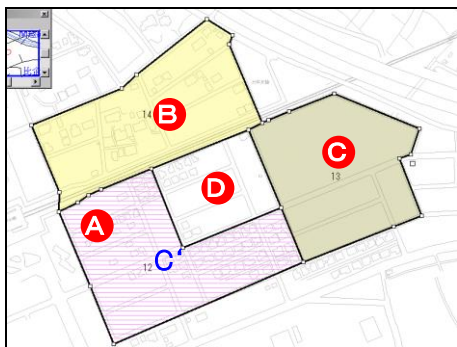
これで、**A** の状況類似地域のCの点のみが移動する状態となります。

この例のCの点をC'に移動する場合、青の丸で囲まれたところにだけ点ができていたことが前提となります。

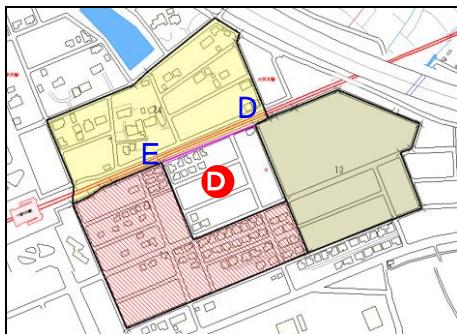
(Cの点と青の丸で囲まれた点の間には、点が設定されていないということです。)



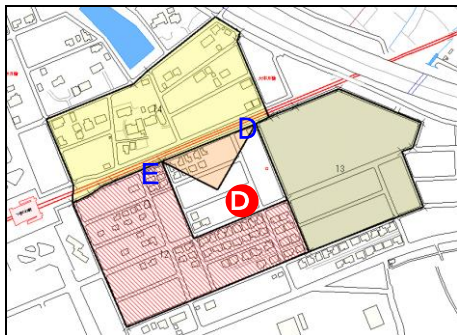
- ⑦ **A** の状況類似地域でCの点のみが移動する状態となりますので、C'の位置で左クリックしてください。



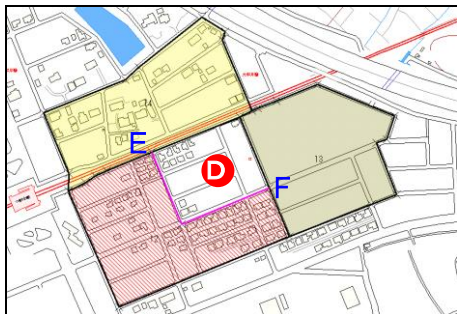
- ⑧ 追加する **D** の状況類似地域の部分が空白になります。
D の部分に状況類似地域を登録します。



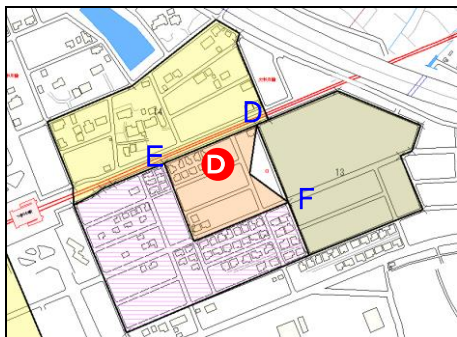
- ⑨ [自動トレース]機能を使うと操作が簡単です。([自動トレース]機能についてはP7「1(2)②既存の区画線そのものを指定できる機能」を参照してください。)
 左図でDの点を左クリックするとDの点がピンク色になります。続けてEの点をダブルクリックするとEの点がピンク色になります。[スペースキー]を押して、ピンク色の区画線を表示してください。



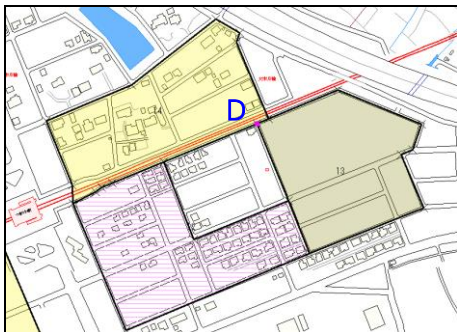
- ⑩ 既に作成されている状況類似地域の区画線のひとつ(DからEの区画線)がトレースされます。
D の部分上で左クリックしてください。



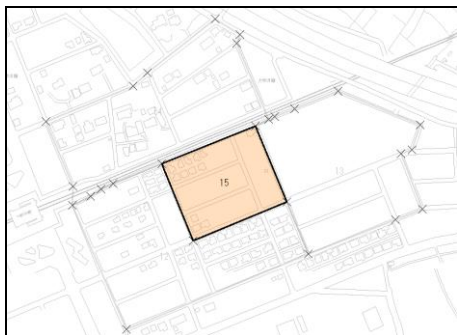
- ⑪ Fの点を左クリックすると、Fの点がピンク色になります。
[スペースキー]を押して、ピンク色の区画線を表示してください。



- ⑫ EからFの区画線がトレースされます。
Dの部分上で左クリックしてください。



- ⑬ Dの点(始めに指定した点)を左クリックすると、Dの点がピンク色になります。



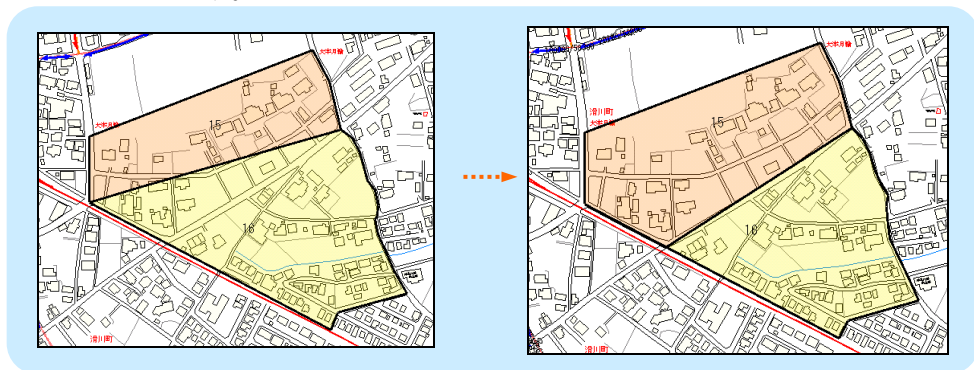
- ⑭ [エンターキー]を押してトレースを完了します。
画面下のメッセージエリアに[この図形を登録しますか?]&表示されます。決定する場合は左クリック、キャンセルしたい場合は右クリックをしてください。



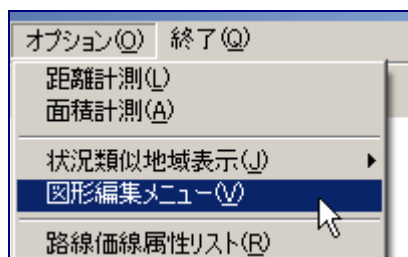
- ⑮ 状況類似地域を登録することができます。

- 状況類似地域の形状によっては、点を追加又は削除することにより、より簡単に区画を変更することができる場合があります。

状況類似地域の区画線上に点を追加し、その点を移動することにより、区画を変更することができます。



- ① 状況類似地域の区画を変更したい場所の地図を表示してください。



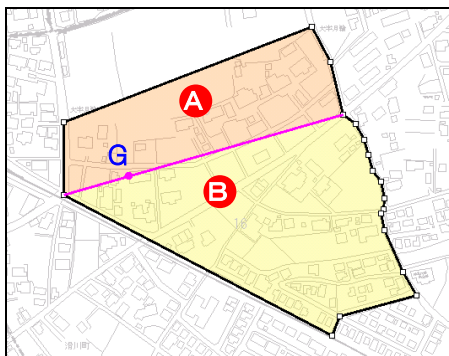
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



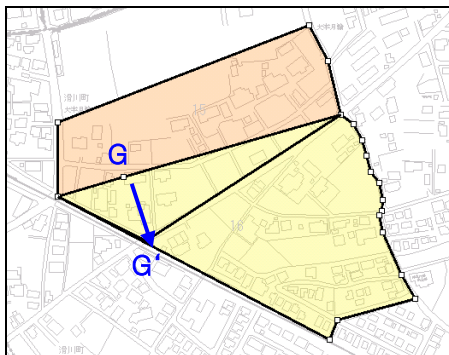
- ③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。



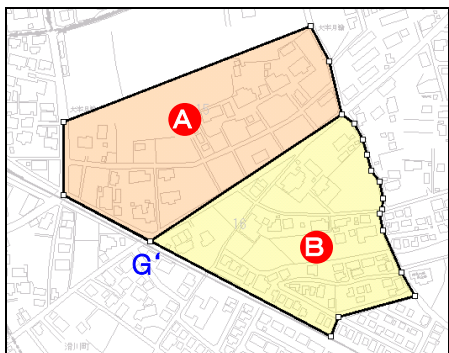
- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[点の追加]を左クリックしてください。



- ⑤ 追加したい点(G)の位置を区画線上で左クリックします。画面下のメッセージエリアに[図形が複数見つかりました。]と表示されます。
状況類似地域 **A**、**B** の両方の図形に点を追加する場合は左クリックしてください。どちらか一方の状況類似地域に点を追加する場合は右クリックしてください。左図は **A**、**B** 両方の状況類似地域に点を追加する例です。
画面下のメッセージエリアに[この位置に点を追加してもよろしいですか。]と表示されます。決定する場合は左クリック、キャンセルしたい場合は右クリックしてください。



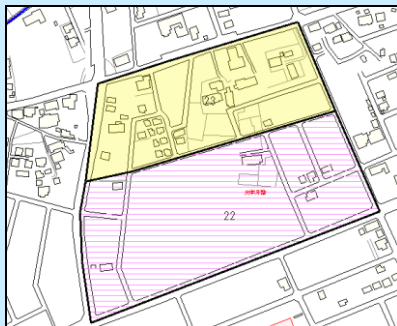
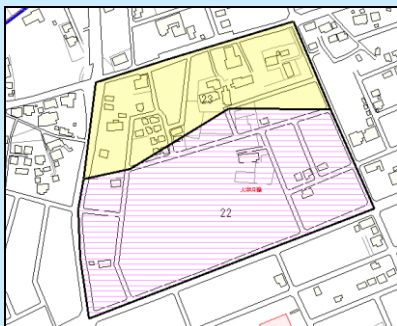
- ⑥ 「追加した点を移動しますか？」と画面に表示されますので、「はい」を左クリックしてください。
G'の位置で左クリックをしてください。



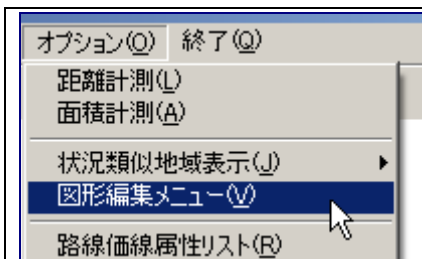
- ⑦ 点を移動することにより **A** 及び **B** の状況類似地域の区画を変更することができます。
- ⑧ 右クリックすると完成します。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似地域]の[変更]の[点追加]をクリックして、⑤以降の操作を行ってください。

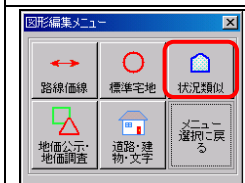
■ 状況類似地域の区画線上の点を削除することにより、区画を変更することができます。



① 状況類似地域の区画を変更したい場所の地図を表示してください。



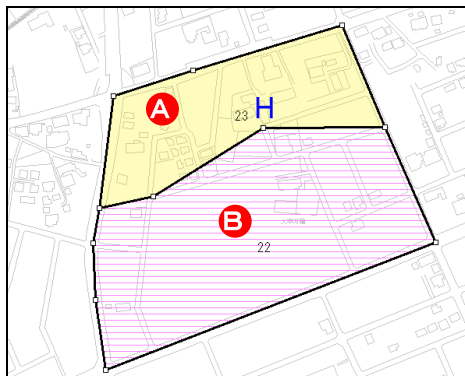
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。

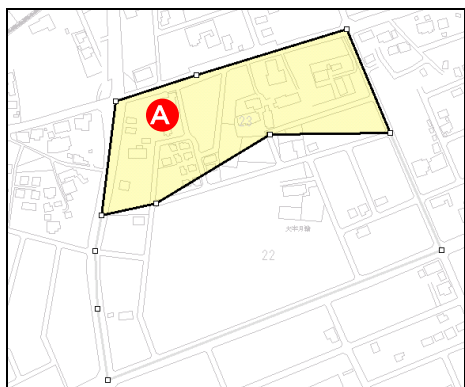


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[点の削除]をクリックしてください。

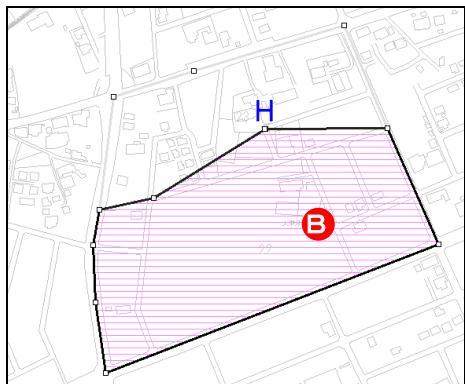


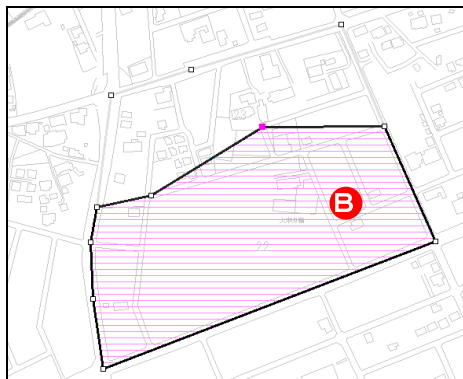
⑤ 削除する点(H)を左クリックしてください。

指示した点(点H)が他の状況類似地域と隣接している場合は、まずひとつめの状況類似地域が強調表示されます。その状況類似地域の点でよければ左クリックで決定、違う場合は右クリックでキャンセルしてください。状況類似地域が隣接していない場合は⑦に進みます。

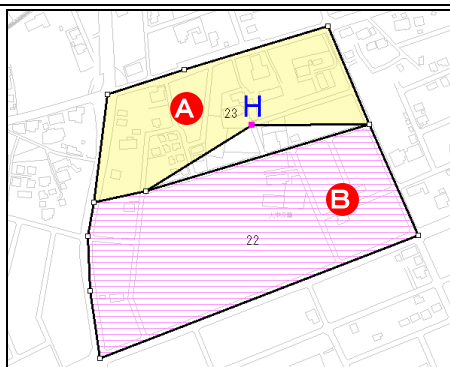


⑥ ⑤でキャンセルした場合は隣接するほかの状況類似地域が強調表示されます。その状況類似地域の点でよければ左クリックで決定、違う場合は右クリックでキャンセルしてください。目的の状況類似地域が強調表示されるまでこの操作を繰り返してください。
左図の例では **B** を選択します。

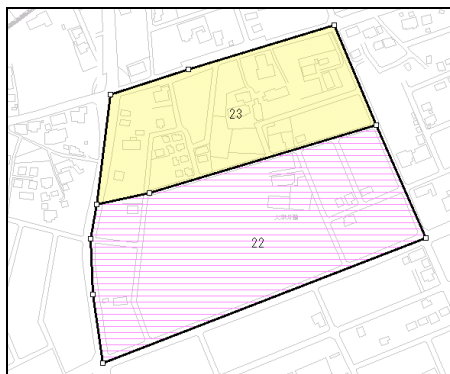




- ⑦ 画面下のエリアメッセージに[この点を削除してよろしいですか?]と確認のメッセージが表示されます。よければ左クリックして決定、キャンセルする場合は右クリックしてください。



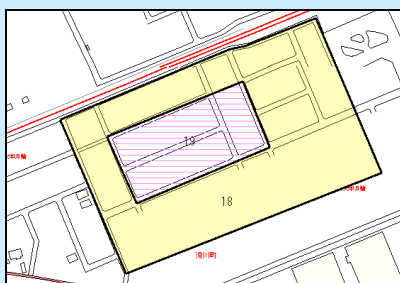
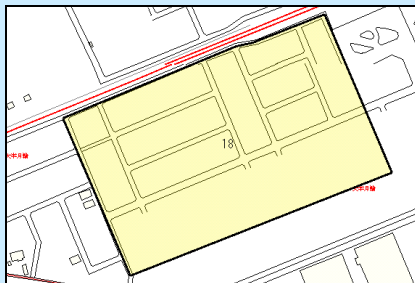
- ⑧ **B** の状況類似地域の点Hが削除されたことにより、**A** と **B** との間に三角形の空白ができます。空白部分を状況類似地域**A** に変更するために点Hを削除します。左クリックで決定します。



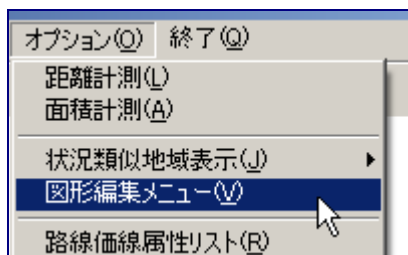
- ⑨ この場合、状況類似地域**A** の点Hは、他の状況類似地域に隣接していないので、状況類似地域が強調表示されません。
- ⑩ 右クリックすると完成します。

(2) 状況類似地域の中に別の状況類似地域を作成する

既存の状況類似地域をくり抜いて、そのなかに別の状況類似地域を作成します。



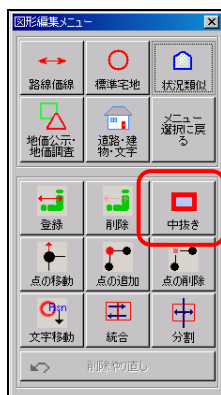
① 状況類似地域を作成したい場所の地図を表示してください。



② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。



④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[中抜き]を左クリックしてください。

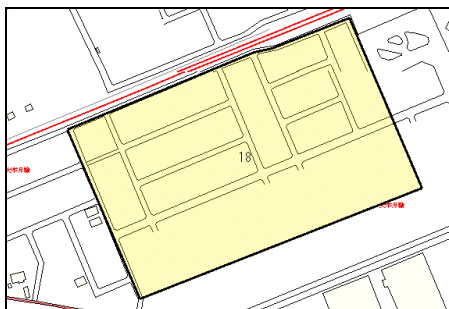
※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似地域]の[変更]の[中抜き登録]を左クリックしてください。

- ⑤ 「状況類似地域属性」ウィンドウが開きます。情報を設定して、「登録」を左クリックしてください。

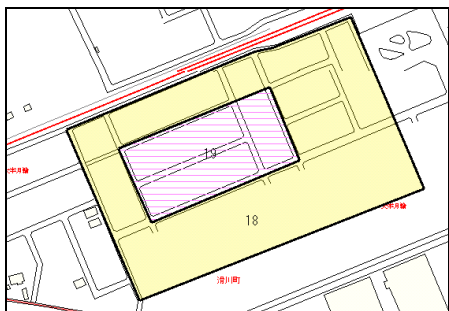
「状況類似地域番号」「用途地区」は必ず設定してください。

状況類似地域属性

状況類似地域番号	19	用途地区	普通商業
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3	
H26.1.1～H26.7.1	H26.1.1～H27.7.1	H26.1.1～H28.7.1	
			登録 キャンセル



- ⑥ 既存の状況類似地域の内側に新しい状況類似地域を入力してください。状況類似地域の入力方法はP1「1(1) 新規に状況類似地域の区画線を引く」と同様です。



- ⑦ 内側の状況類似地域を登録すると、外側の状況類似地域がドーナツ型に変更されます。

- ⑧ 状況類似地域番号等の文字が重なる場合は、必要に応じて、この時点で、位置を修正してください。文字の移動についてはP36「3状況類似地域番号の表示位置を移動する」を参照してください。

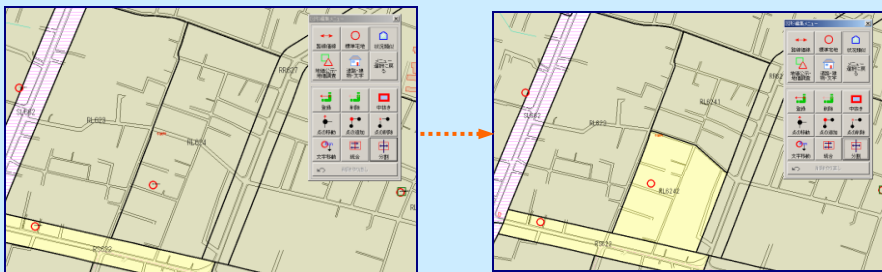
- ⑨ 新しい状況類似地域の属性変更で、「主要な街路の路線価番号」を入力してください。内側の状況類似地域に存在する路線価線の属性変更で、状況類似地域番号を修正してください。

状況類似地域属性

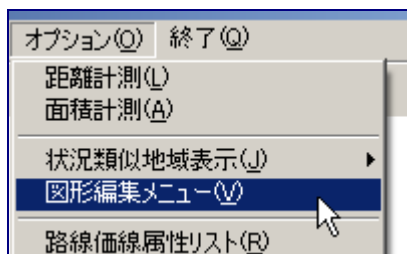
状況類似地域番号	101	用途地区	普通住宅
主要な街路の路線価番号			
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3	
H26.1.1～H26.7.1	H26.1.1～H27.7.1	H26.1.1～H28.7.1	
<input type="checkbox"/> 合併前の属性表示			標準宅地属性 路線価属性 更新 閉じる

(3) 状況類似地域を分割する

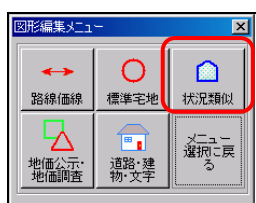
既存の状況類似地域を2つ以上の状況類似地域に分けることができます。



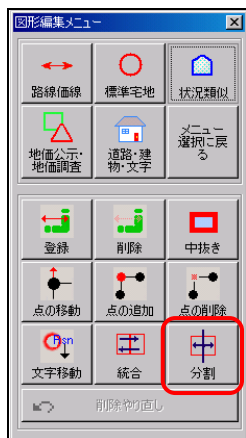
- ① 状況類似地域を分割したい場所の地図を表示してください。



- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。

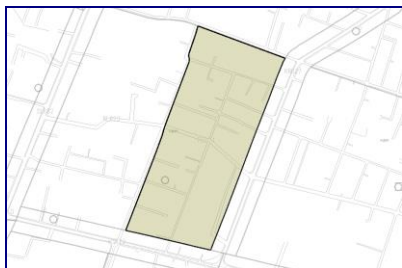


- ③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。

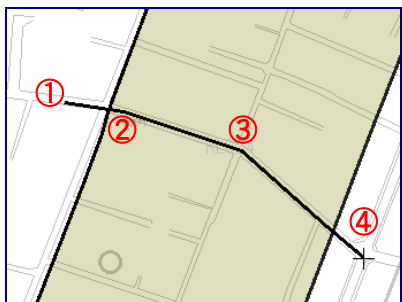


- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[分割]を左クリックしてください。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似地域]の[分割]を左クリックしてください。



- ⑤ 分割したい状況類似地域を左クリックしてください。
指示した状況類似地域が画面中央に表示されます。



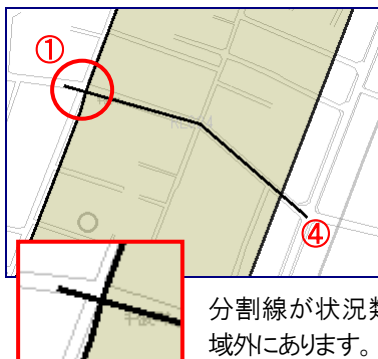
- ⑥ 状況類似地域を横断するように、分割線を入力します。状況類似地域外の場所を左クリックして分割線の始点①を入力してください。頂点②及び③を左クリックして、最後に状況類似地域外の場所をダブルクリックして終点④を入力してください。

注意

※分割線を入力するときのポイント

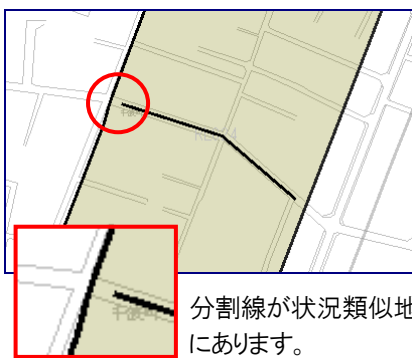
分割線の両端が状況類似地域からはみだすように入力します。
左図の場合は分割できますが、右図の場合は分割できません。

<分割可>



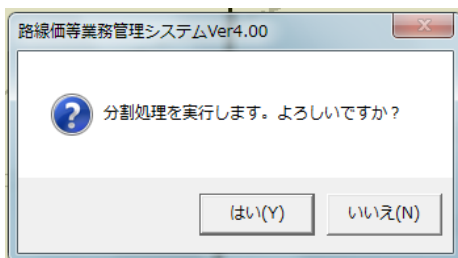
分割線が状況類似地域外にあります。

<分割不可>



分割線が状況類似地域内にあります。

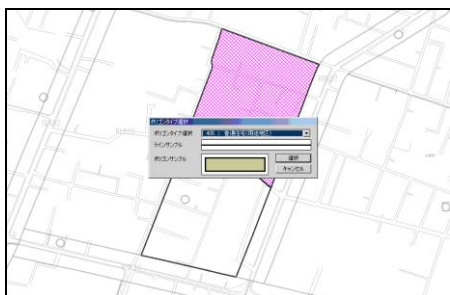
- ⑦ 続けて分割線を入力することができます。⑤以降の操作を繰り返してください。
分割線の入力を終了するには、右クリックしてください。



- ⑧ [分割処理を実行します。よろしいですか?]と確認のダイアログが表示されます。
よければ[はい]を、キャンセルする場合は[いいえ]を左クリックしてください。



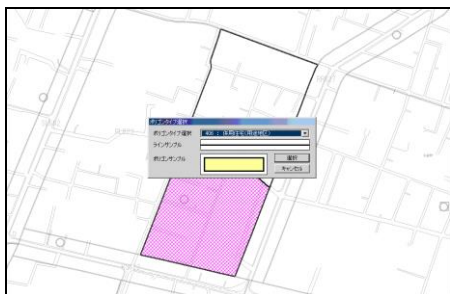
- ⑨ 1つめの状況類似地域が強調表示され、[状況類似地域番号入力]ウィンドウが表示されます。状況類似地域番号を入力して[OK]を左クリックしてください。



- ⑩ [ポリゴンタイプ選択]ウィンドウが開きます。
[ポリゴンタイプ選択]リストから用途地区を選択し、[選択]を左クリックしてください。

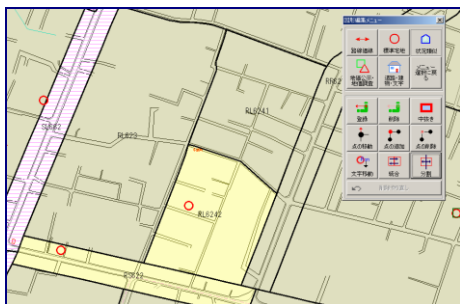


- ⑪ 次の状況類似地域が強調表示され、
[状況類似地域番号入力]ウィンドウが表示されます。状況類似地域番号を入力して[OK]を左クリックしてください。



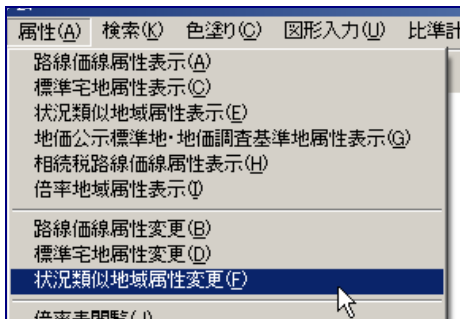
- ⑫ [ポリゴンタイプ選択]ウィンドウが開きます。
[ポリゴンタイプ選択]リストから用途地区を選択し、[選択]を左クリックしてください。

この操作が、分割したすべての状況類似地域の数分、繰り返されます。

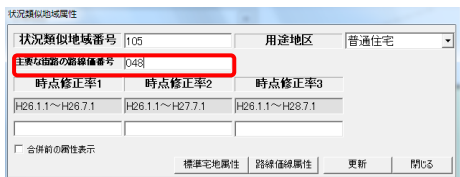


- ⑬ 画面下のメッセージエリアに[分割処理実行中]と表示され、状況類似地域が分割されます。

- ⑭ 状況類似地域の分割を続けることができます。他の状況類似地域を分割する場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合は、右クリックしてください。



- ⑮ 状況類似地域の分割が終わったら、分割した状況類似地域に主要な街路を設定します。
[属性]メニューの[状況類似地域属性変更]を左クリックしてください。



- ⑯ 1つめの状況類似地域を左クリックしてください。
[状況類似地域属性]ウィンドウが開きます。
[主要な街路の路線価番号]に路線価番号を入力し、[更新]を左クリックしてください。入力した路線価番号の路線価線が主要な街路の色に変わります。

⑪

状況類似地域属性

状況類似地域番号	107	
用途地区	併用住宅	
主要な街路の路線価番号	049	
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
H26.1.1～H26.7.1	H26.1.1～H27.7.1	H26.1.1～H28.7.1

☐ 合併前の属性表示

標準宅地属性 | 路線価線属性 | 更新 | 閉じる

続けて2つめの状況類似地域を左クリックして、⑩と同様に主要な街路を設定してください。分割したすべての状況類似地域で、この作業を繰り返してください。

注意

※状況類似地域を分割した場合の路線価線の状況類似地域番号について

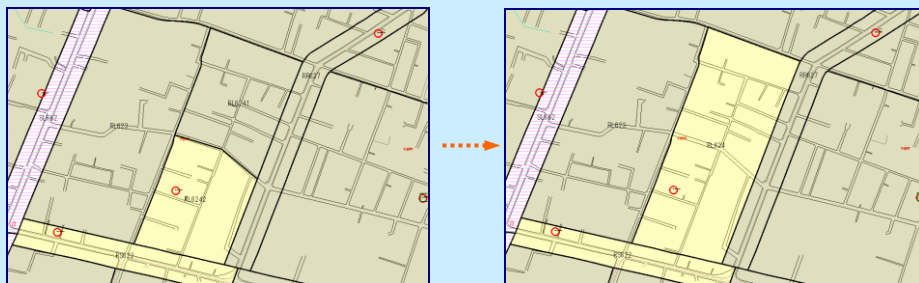
分割前の状況類似地域に登録されていた路線価線は、自動的に分割後の複数の状況類似地域に振り分けて登録されます。複数の状況類似地域にまたがる路線がある場合は、路線価線の属性を確認して、状況類似地域番号を確認してください。

※主要な街路について

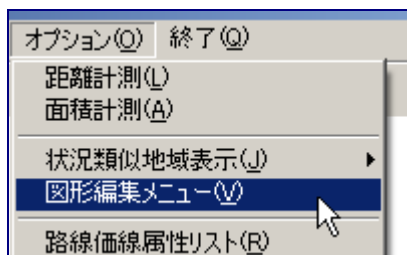
分割直後には、状況類似地域には主要な街路は登録されていません。分割された状況類似地域内に主要な街路の路線価線が存在しても、状況類似地域属性の[主要な街路の路線価番号]として登録されません。ですので、必ず分割後の各状況類似地域に主要な街路の路線価番号を入力してください。

(4) 複数の状況類似地域をひとつに統合する

既存の状況類似地域をいくつか指定して、ひとつの状況類似地域に合わせることができます。



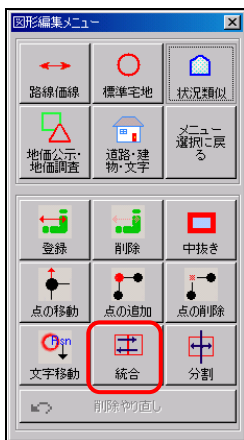
① 状況類似地域を統合したい場所の地図を表示してください。



② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。

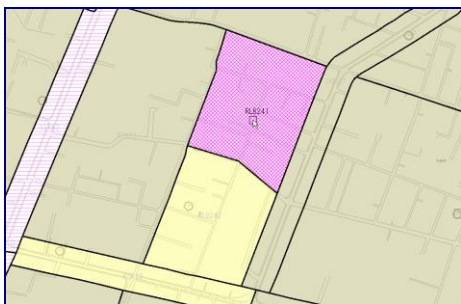


③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。

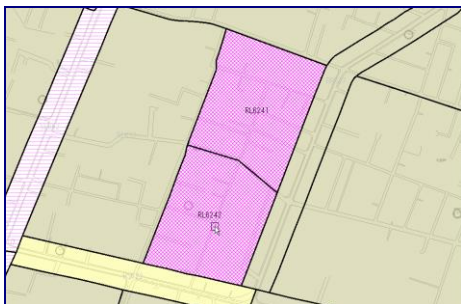


- ④ 「図形編集メニュー」の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[統合]を左クリックしてください。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似地域]の[統合]を左クリックしてください。



- ⑤ 統合する状況類似地域を左クリックしてください。
クリックした状況類似地域が強調表示されます。

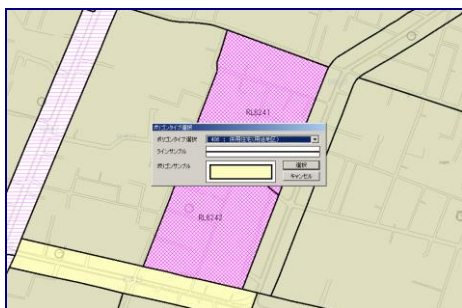


- ⑥ 以降、続けて統合する状況類似地域を左クリックすることができます。
状況類似地域の指定を終了するには、右クリックしてください。

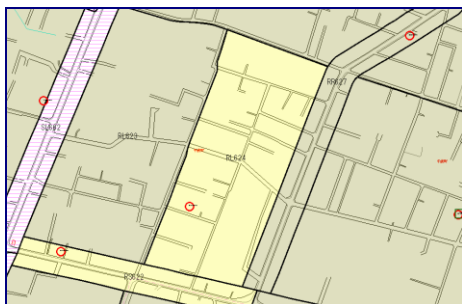
- ⑦ 状況類似地域の選択を終了すると、「選択された○個のポリゴンを統合しますか?」と確認のダイアログが表示されます。よければ[はい]を、キャンセルする場合は[いいえ]を左クリックしてください。



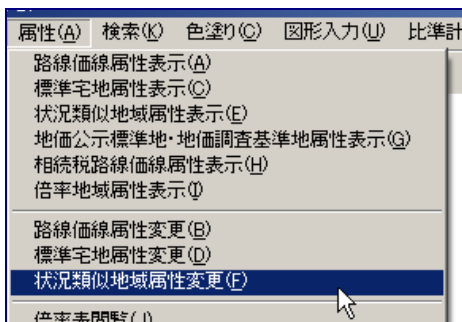
- ⑧ [状況類似地域番号入力]ウィンドウが表示されます。統合した状況類似地域の状況類似地域番号を入力して[OK]を左クリックしてください。



- ⑨ [ポリゴンタイプ選択]ウィンドウが開きます。[ポリゴンタイプ選択]リストから用途地区を選択し、[選択]を左クリックしてください。



- ⑩ 画面下のメッセージエリアに[路線価線データ更新中]と表示され、状況類似地域が統合されます。



- ⑪ 統合した状況類似地域に主要な街路を設定します。
[属性]メニューの[状況類似地域属性変更]を左クリックしてください。

状況類似地域属性

状況類似地域番号	j110		用途地区	普通商業
主要な道路の路線価番号	j047			
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3		
jH26.1.1～jH26.7.1	jH26.1.1～jH27.7.1	jH26.1.1～jH28.7.1		
<input type="checkbox"/> 合併前の属性表示				
標準宅地属性		路線価補正属性		更新 閉じる

- ⑫ 統合した状況類似地域を左クリックしてください。
 [状況類似地域属性]ウィンドウが開きます。
 [主要な街路の路線価番号]に路線価番号を入力し、[更新]を左クリックしてください。

注意

※状況類似地域を統合した場合の路線価線の状況類似地域番号について

統合元の状況類似地域に登録されていた路線価線は、自動的に統合後の状況類似地域に登録されますので、路線価線の属性を変更する必要はありません。

※主要な街路について

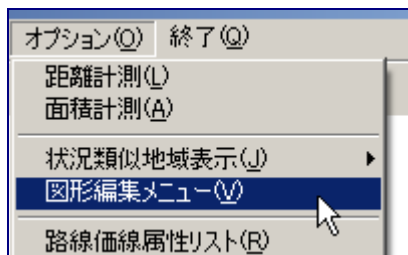
統合直後には、統合元の状況類似地域に登録されていた主要な街路が全て有効なままとなりますので、複数の主要な街路が存在する矛盾が生じます。必ず統合後の状況類似地域に主要な街路の路線価線番号を入力してください。

3 状況類似地域番号の表示位置を移動する

状況類似地域番号の表示位置を移動する

文字だけを移動させる機能ですので、図形は移動しません。

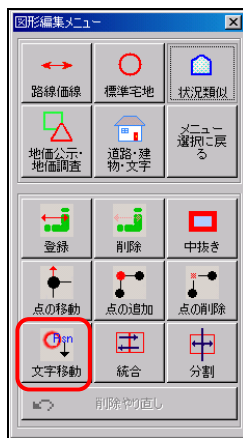
- ① 状況類似地域番号を移動したい場所の地図を表示してください。



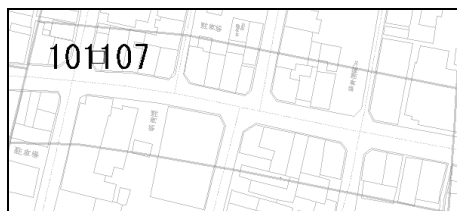
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



- ③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[状況類似]を左クリックしてください。

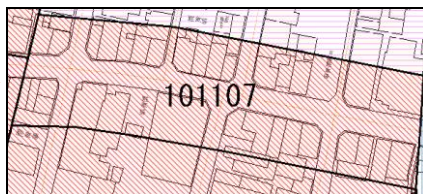
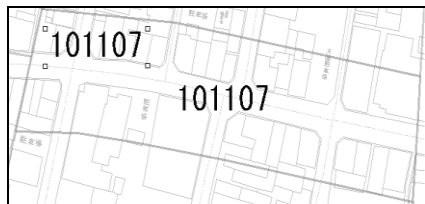


- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[文字移動]を左クリックしてください。



- ⑤ 移動したい状況類似地域の番号の文字上を左クリックしてください。

- ⑥ 移動先を左クリックすると、文字が移動します。



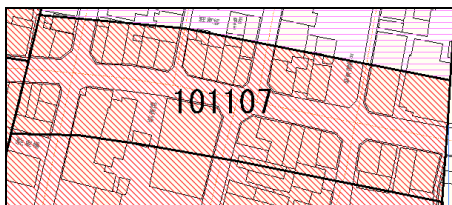
- ⑦ 文字の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合には、右クリックしてください。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの各図形メニューの[文字移動]を左クリックしてください。

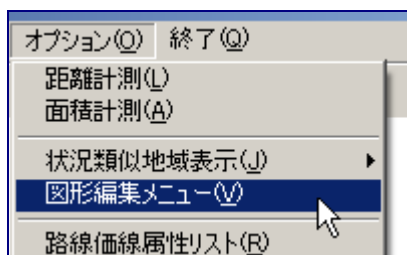
4 状況類似地域の区画線を削除する

状況類似地域の区画線を削除する

図形データを削除すると、その属性データも削除されます。



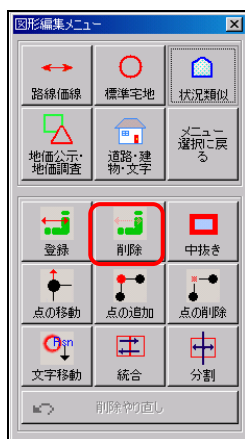
- ① 状況類似地域番号「101107」を削除します。



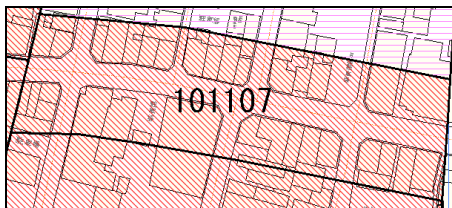
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックして図形編集メニューを表示してください。



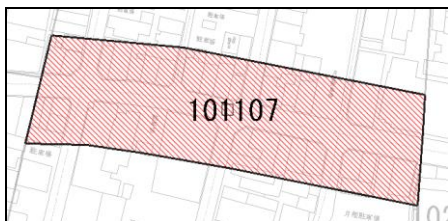
- ③ [図形編集メニュー]の[状況類似]を左クリックしてください。



- ④ [削除]を左クリックしてください。

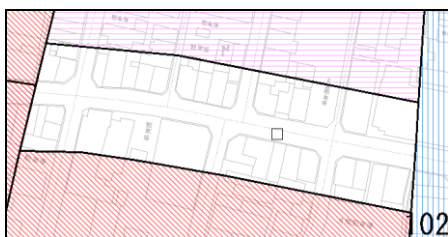


- ⑤ 削除したい状況類似地域を地図上で左クリックしてください。



- ⑥ 選択した状況類似地域が強調表示されます。左クリックで決定してください。
全てキャンセルした場合は、削除の操作自体が終了します。

- ⑦ ⑤で決定すると、画面下のメッセージエリアに[この図形を削除してよろしいですか？]と表示されます。よければ左クリックで決定、キャンセルする場合は右クリックしてください。キャンセルした場合は⑨に進みます。

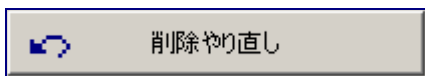


- ⑧ ⑦で決定すると、区画線が削除されます。
⑨ 状況類似の削除を続けることができます。続ける場合は③以降の操作を行います。
削除操作を終了する場合は右クリックしてください。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[状況類似]の[削除]を左クリックして、⑤以降の操作を行ってください。

■ 削除した図形を元に戻すには

削除した図形を元に戻したい場合は、[図形編集メニュー]の[削除やり直し]を左クリックします。



最後に削除した図形が対象です。

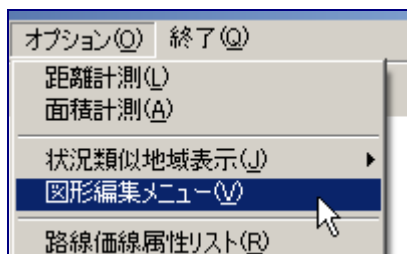
削除した後に図形の新規入力を行った場合は、削除した図形を復活させることはできません。また、やり直しは1回限り有効です。前にさかのぼって復活させることはできません。

第2章 路線価線を引く

1 新規に路線価線を引く

新規に路線価線を引く

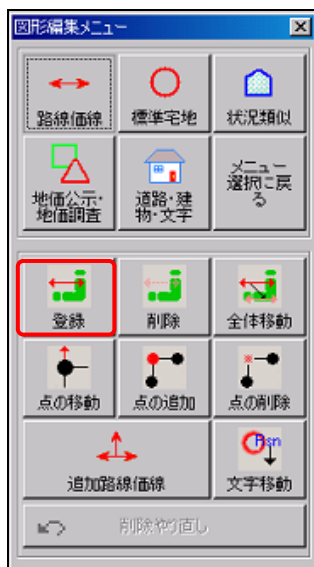
- ① 路線価線を引く場所の地図を表示してください。



- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



- ③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[路線価線]を左クリックしてください。



- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[登録]を左クリックしてください。

⑤ [路線価線属性]ウィンドウが開きます。

まず、[路線価番号]を入力してください。次に、[街路種別]を入れる欄の右側にある[▼]を押してください。下のほうに「主要な街路」「その他の街路」が現れますので、どちらかを選択してください。

その後、[路線価(円/㎡)]、[時点修正率1]、[時点修正率2]及び[時点修正率3]を入力してください。これらの属性データは、エクセル等の表計算ソフトを使って入力したほうが効率的です。ただし、入力又は更新するデータの件数が少ない時は、この時点で入力したほうが効率的な場合もあります。やりやすい方で行ってください。以上が終わったら[登録]ボタンをクリックしてください。

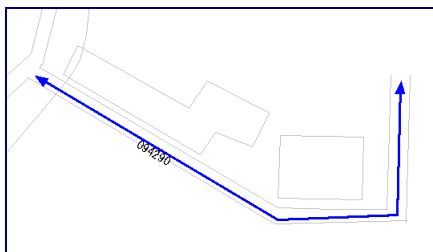
路線価線属性			
路線価番号	094290		街路種別
			用途地区
路線価(円/㎡)	時点修正率1	時点修正率2	主要な街路 その他の街路
	H26.1.1～H26.7.1	H26.1.1～H27.7.1	H26.1.1～H28.7.1
時点修正後価格(円/㎡)			
新路線価(円/㎡)		総括格差率	
		総合調整格差率	
<small>時点修正率欄に「99999」と表示されている市町村は、 時点修正率が未入力です。</small>			登録 キャンセル

ここまでの作業を済ませると、地図上に路線価線を引くことができる状態になります。

注意

※同じ番号の路線価線が存在する場合

[入力された路線価番号は既に入力されています。他の番号を入力してください。]とダイアログが表示されますので[OK]を左クリックして、最初からやり直してください。同じ路線価番号の路線価線を入力したい場合は、P50「2(2)枝分かれさせた路線価線を引く」及びP52「2(3)既存の路線価線と同じ路線価番号の路線価線を引く」を参照してください。

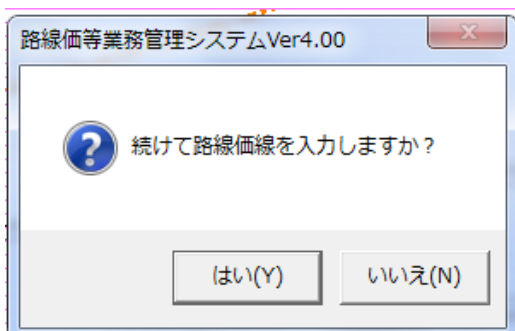


- ⑥ 地図上で、路線価線の始点にする場所を左クリックします。路線価線の頂点になる点を次々に左クリックします。最後の頂点となる点で左ダブルクリックをします。
入力中に1つの前の点に戻りたいときは、右クリックしてください。

- ⑦ メッセージエリアに[この図形を登録しますか？]と表示されます。決定する場合は左クリック、キャンセルする場合は右クリックしてください。

この図形を登録しますか？ 左クリック: 決定 / 右クリック: キャンセル

- ⑧ [続けて路線価線を入力しますか？]とダイアログが表示されます。入力続ける場合は[はい]を、終了する場合は[いいえ]をクリックしてください。



- ⑨ ⑧で[はい]をクリックした場合は、続けて路線価線を引くことができます。⑤以降を繰り返してください。
[いいえ]をクリックした場合は、路線価線の入力が終了します。

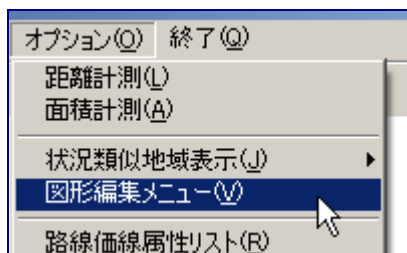
※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[新規]をクリックして、⑤以降の操作を行ってください。

2 既存の路線価線の形状を変更、修正する

(1) 長さや角度を変更する

■ 路線価線の点を移動することで、路線価線の長さを変更することができます。

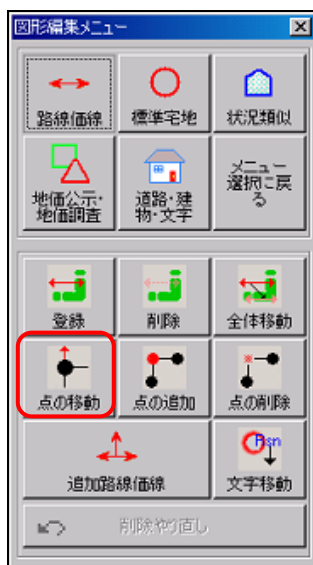
① 路線価線の長さを変更したい場所の地図を表示してください。



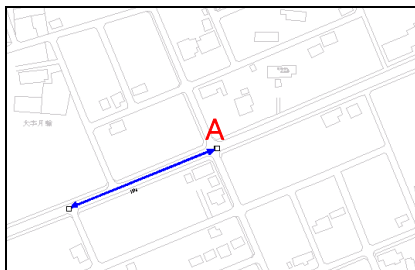
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]をクリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[路線価線]をクリックしてください。

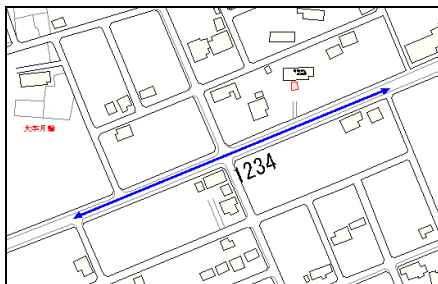
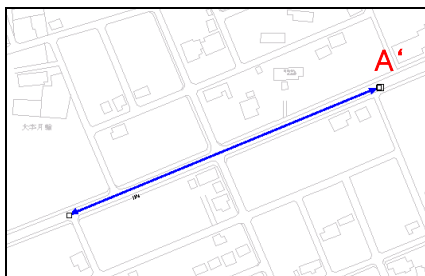


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[点の移動]をクリックしてください。



⑤ 移動したい点(A)を左クリックしてください。

⑥ 点の移動先(A')を左クリックしてください。

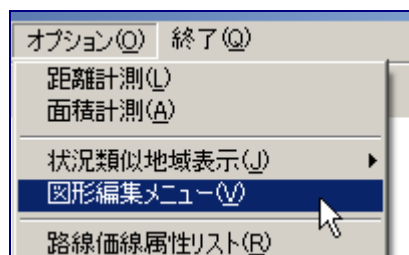


⑦ 点の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。
終了する場合は、右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[点移動]をクリックしてください。

■ 路線価線の点を移動することで、路線価線の形状を変更、修正することができます。

① 路線価線の形状を変更したい場所の地図を表示してください。



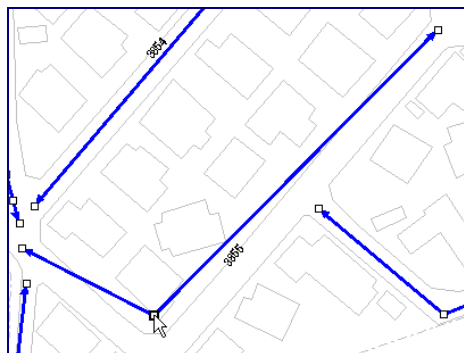
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]をクリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[路線価線]をクリックしてください。

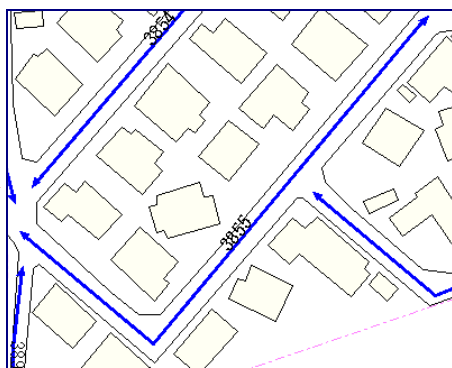
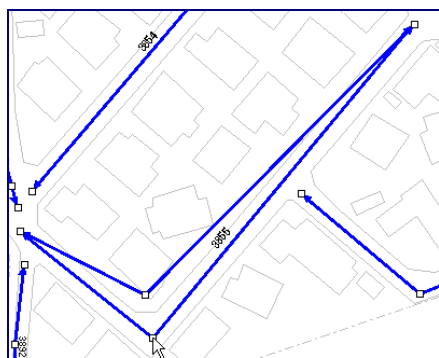


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[点の移動]をクリックしてください。



⑤ 移動したい点を左クリックしてください。

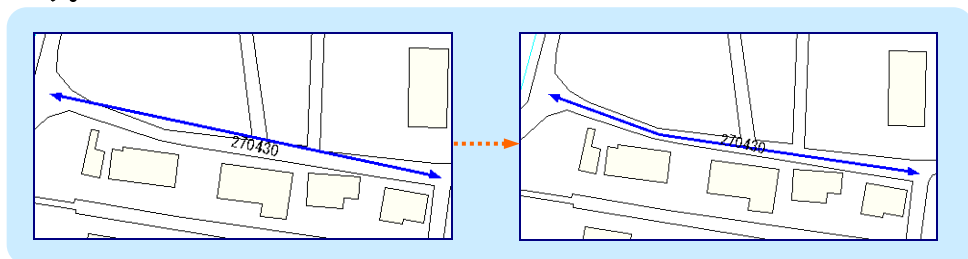
⑥ 点の移動先を左クリックしてください。



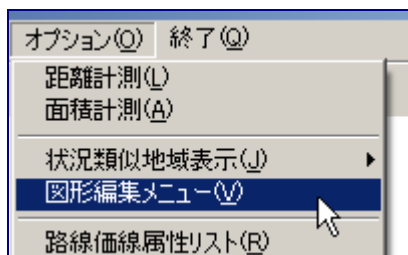
⑦ 点の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。
終了する場合は、右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[点移動]を左クリックしてください。

- 路線価線上に点を追加し、その点を移動して路線価線の形状を変更することができます。



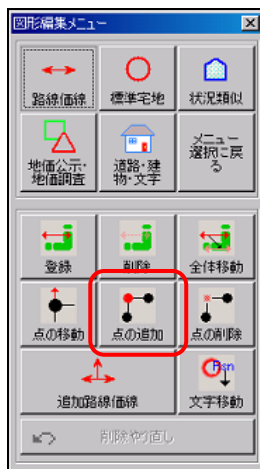
- ① 路線価線の形状を変更したい場所の地図を表示してください。



- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックして図形編集メニューを表示してください。



- ③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。

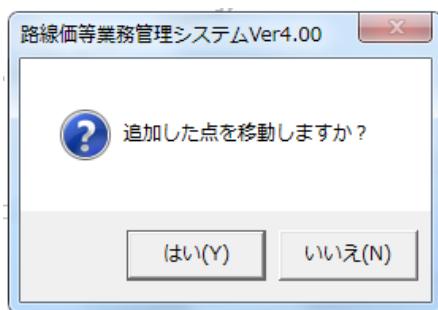


- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[点の追加]を左クリックしてください。

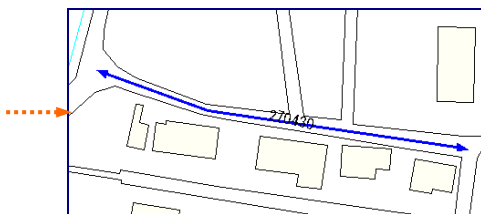
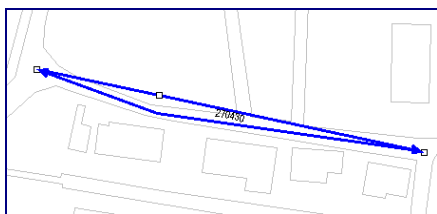


- ⑤ 路線価線上で、点を追加したい場所を左クリックしてください。
 クリックした位置が強調表示され、メッセージエリアに「この位置に点を追加してよろしいですか？」と表示されます。
 位置を確認して、よければ左クリックで決定、違う場合は右クリックしてキャンセルしてください。

- ⑥ 「追加した点を移動しますか？」とダイアログが表示されます。移動する場合は「はい」を、移動しない場合は「いいえ」を左クリックしてください。
 「いいえ」を左クリックした場合は、操作が終了し、⑤に戻ります。



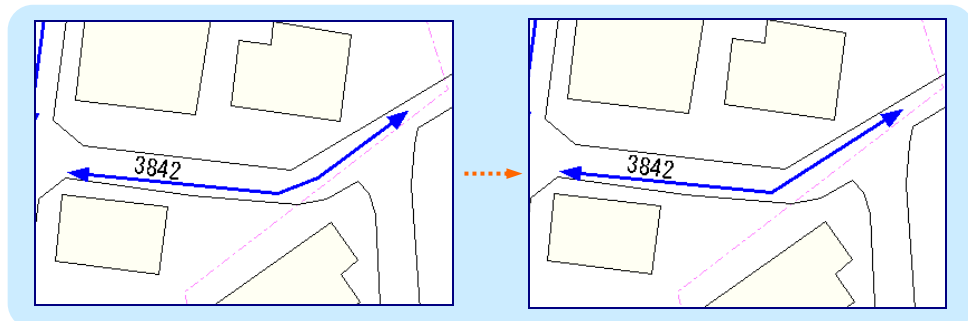
- ⑦ ⑥で「はい」を選択した場合は、移動先を左クリックしてください。



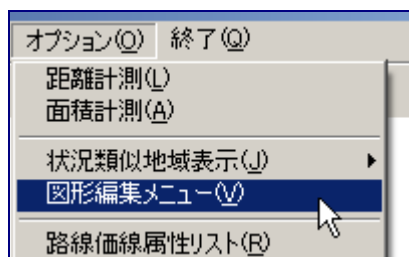
- ⑧ 点の追加を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。
 終了する場合は、右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[点追加]を左クリックしてください。

■ 路線価線上の点を削除して、路線価線の形状を変更することができます。



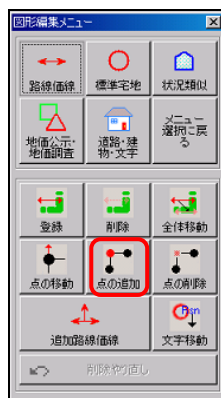
① 路線価線の形状を変更したい場所の地図を表示してください。



② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックして図形編集メニューを表示してください。

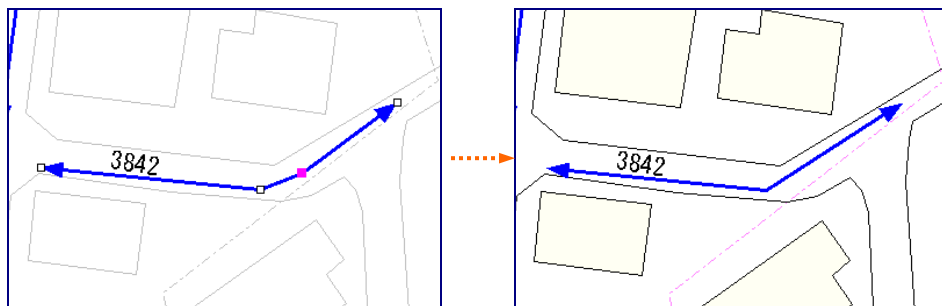


③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。



④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[点の追加]を左クリックしてください。

- ⑤ 削除したい点を左クリックしてください。
クリックした点が強調表示され、メッセージエリアに「この点を削除してよろしいですか？」と表示されます。位置を確認して、その位置でよければ左クリックで決定、違う場合は右クリックでキャンセルしてください。

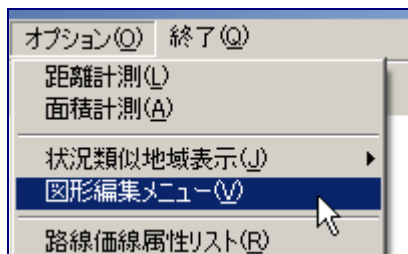


- ⑥ 点の削除を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。
終了する場合には、右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[点削除]を左クリックしてください。

(2) 枝分かれさせた路線価線を引く

① 枝分かれさせたい路線価線のある場所の地図を表示してください。



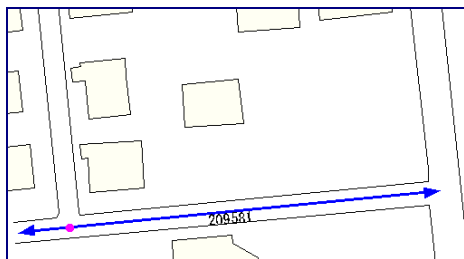
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。



④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[追加路線価線]を左クリックしてください。

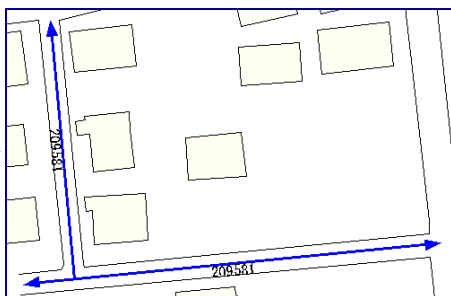
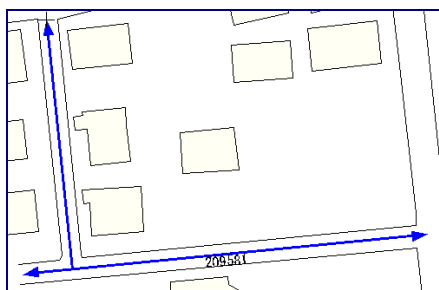


⑤ 枝分かれさせたい路線価線の枝分かれさせたい場所で、ダブルクリックしてください。

⑥ クリックした場所がピンク色になりますので、位置を確認します。その位置でよければ左クリックして決定、違う場合は右クリックしてキャンセルしてください。

⑦ 枝分かれした路線価線の頂点を次々に左クリックします。最後の頂点となる点でダブルクリックしてください。

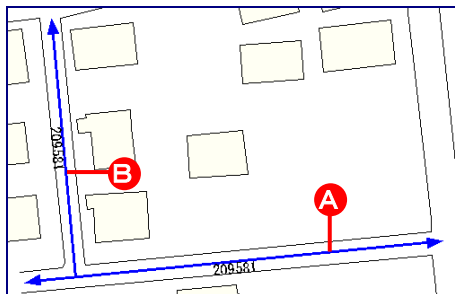
メッセージエリアに[この図形を登録しますか?]と表示されます。よければ左クリックで決定、キャンセルする場合は右クリックしてください。



⑧ 同じ路線価番号の路線価線を続けて引くことができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。

終了する場合は、右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[追加路線価線]を左クリックしてください。



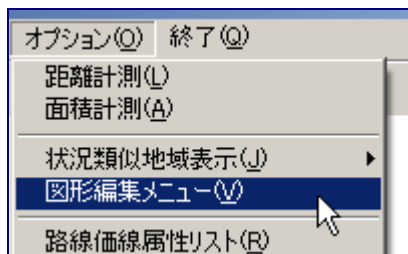
■追加路線価線の属性

追加した路線価線には、同じ路線価番号の路線価線の属性がコピーされます。

路線価線 **A**、**B** の属性は同じ内容です。

(3) 既存の路線価線と同じ路線価番号の路線価線を引く

① 同じ路線価線番号を使いたい路線価線のある場所の地図を表示してください。



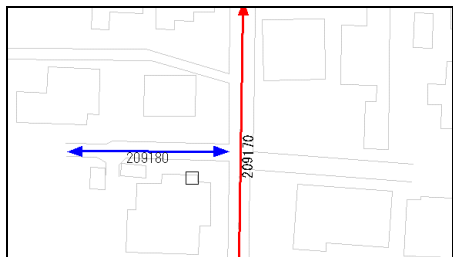
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。

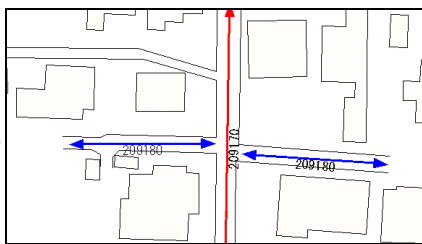
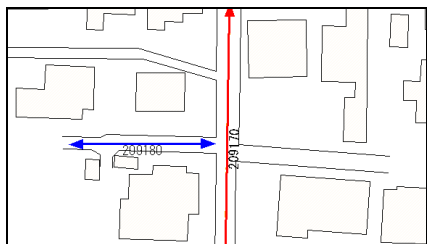


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[追加路線価線]を左クリックしてください。



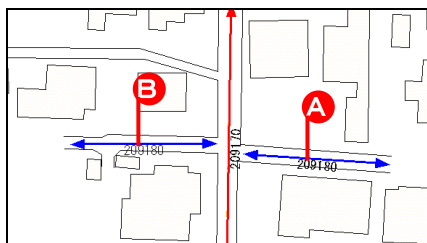
- ⑤ 同じ路線価番号にしたい路線価線を左クリックしてください。
同じ路線価番号の路線価線が入力できる状態となります。

- ⑥ 地図上で路線価線の始点にする場所を左クリックします。路線価線の頂点となる点を次々に左クリックします。最後の頂点となる点でダブルクリックしてください。
メッセージエリアに「この図形を登録しますか?」と表示されます。よければ左クリックで決定、キャンセルする場合は右クリックしてください。



- ⑦ 同じ路線価番号の路線価線を続けて引くことができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。
終了する場合は、右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[追加路線価線]を左クリックしてください。



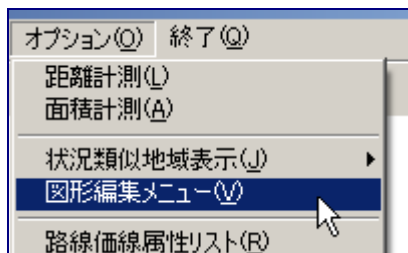
■追加路線価線の属性

追加した路線価線には、同じ路線価番号の路線価線の属性がコピーされます。
路線価線 **A**、**B** の属性は同じ内容です。

3 路線価線を全体的に移動する

(1) 路線価線を全体的に移動する

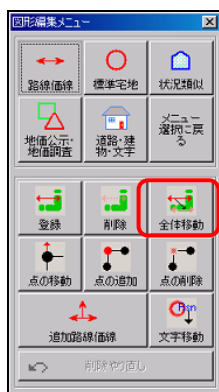
① 路線価線と文字表示の位置を移動したい場所の地図を表示してください。



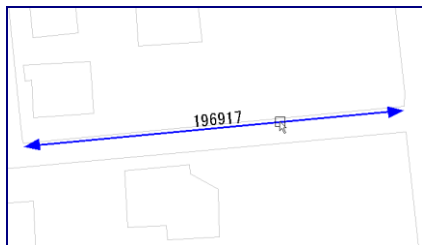
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。

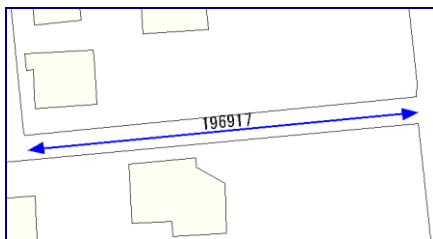
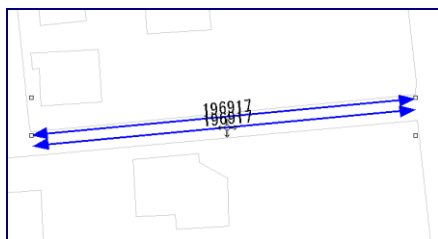


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[全体移動]を左クリックしてください。



- ⑤ 移動したい路線価線を左クリックしてください。路線価線と文字表示の位置が移動できる状態となります。

- ⑥ マウスを使って、移動先へ動かし左クリックしてください。

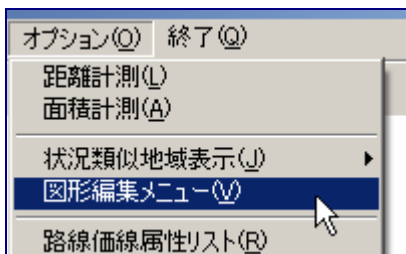


- ⑦ 路線価線と文字表示の位置の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合は右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[全体移動]を左クリックしてください。

(2) 路線価番号及び路線価の表示位置(文字表示の位置)を移動する

① 文字表示の位置を移動したい場所の地図を表示してください。



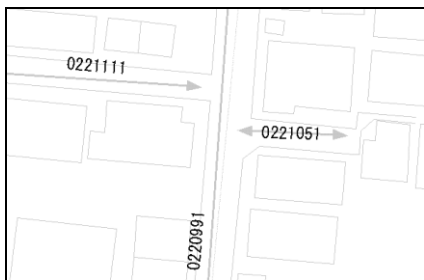
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。

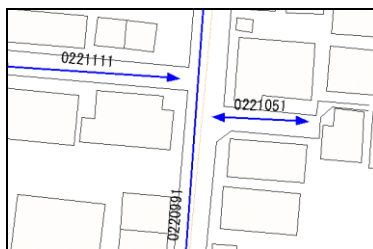
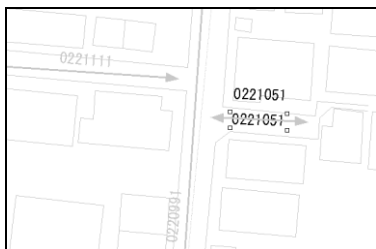


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[文字移動]を左クリックしてください。



- ⑤ 移動したい文字表示を左クリックしてください。文字表示が移動できる状態となります。

- ⑥ マウスを使って、移動先へ動かし左クリックしてください。



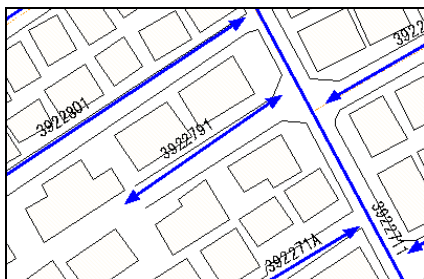
- ⑦ 文字表示の表示位置の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合は右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[変更]の[マーク移動]を左クリックしてください

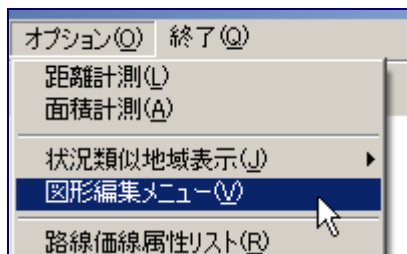
4 路線価線を削除する

路線価線を削除する

図形データを削除すると、その属性データも削除されます。



- ① 路線価番号「3922791」を削除します。



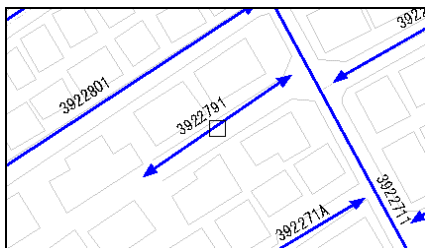
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



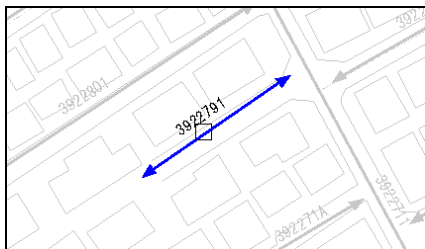
- ③ [図形編集メニュー]の[路線価線]を左クリックしてください。



- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[削除]を左クリックしてください。



- ⑤ 削除したい路線価線を地図上で左クリックしてください。



- ⑥ 選択した路線価線が強調表示されます。左クリックで決定してください。全てキャンセルした場合は、削除の操作自体が終了します。

- ⑦ ⑤で決定すると、画面下のメッセージエリアに[この図形を削除してよろしいですか？]と表示されます。よければ左クリックで決定、キャンセルする場合は右クリックしてください。
キャンセルした場合は⑨に進みます。

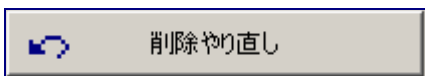


- ⑧ ⑦で決定すると、路線価線が削除されます。
- ⑨ 路線価線の削除を続けることができます。続ける場合は③以降の操作を行います。
削除操作を終了する場合は右クリックしてください。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[路線価線]の[削除]を左クリックして、⑤以降の操作を行ってください。

■ 削除した図形を元に戻すには

削除した図形を元に戻したい場合は、[図形編集メニュー]の[削除やり直し]を左クリックします。



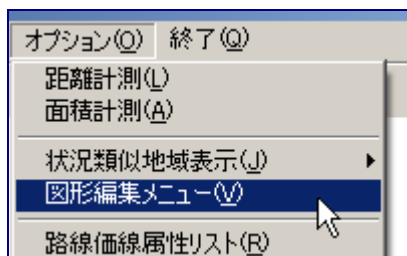
最後に削除した図形が対象です。
削除した後に図形の新規入力を行った場合は、削除した図形を復活させることはできません。
また、やり直しは1回限り有効です。前にさかのぼって復活させることはできません。

第3章 標準宅地を登録する

1 新規に標準宅地を登録する

新規に標準宅地を登録する

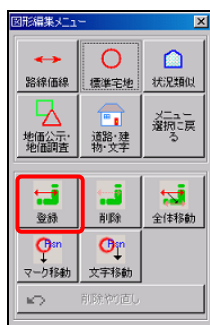
① 標準宅地を登録する場所の地図を表示してください。



② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]が表示されますので、[標準宅地]を左クリックしてください。



④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[登録]を左クリックしてください。

⑤ 「標準宅地属性」ウィンドウが開きます。

まず、[標準宅地番号]を入力してください。次に、[基準・標準宅地]を入れる欄の右側にある[▼]を押してください。下のほうに「基準宅地」「標準宅地」が現れますので、どちらかを選択してください。

その後、必要に応じて[所在]、[価格(円/㎡)]、[時点修正率1]、[時点修正率2]及び[時点修正率3]を入力してください。これらの属性データは、エクセル等の表計算ソフトを使って入力したほうが効率的です。ただし、入力又は更新するデータの件数が少ない時は、この時点で入力したほうが効率的な場合もあります。やりやすい方で行ってください。

以上が終わったら[登録]ボタンを左クリックしてください。

標準宅地属性

標準宅地番号	RR123	基準・標準宅地	▼	
所在			基準宅地 標準宅地	
	用途地区			
価格(円/㎡)	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3	
	H26.1.1～H26.7.1	H26.1.1～H27.7.1	H26.1.1～H28.7.1	
時点修正後価格(円/㎡)				

時点修正率欄に「99999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

登録 キャンセル

⑥ ここまでの作業を済ませると、地図上に標準宅地を登録できる状態になります。

注意

※同じ番号の標準宅地は入力できません。

[入力された番号は既に登録されています。他の番号を入力してください。]とダイアログが表示されますので[OK]を左クリックして、最初からやり直してください。

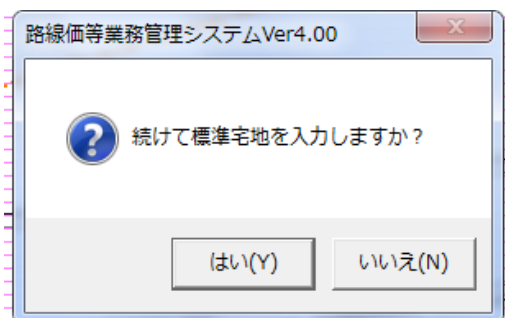


- ⑦ 地図上の登録する位置で、左クリックしてください。

- ⑧ メッセージエリアに「この図形を登録しますか？」と表示されます。決定する場合は左クリック、キャンセルする場合は右クリックしてください。

この図形を登録しますか？ 左クリック：決定／右クリック：キャンセル

- ⑨ 「続けて標準宅地を入力しますか？」とダイアログが表示されます。入力をする場合は「はい」を、終了する場合は「いいえ」を左クリックしてください。



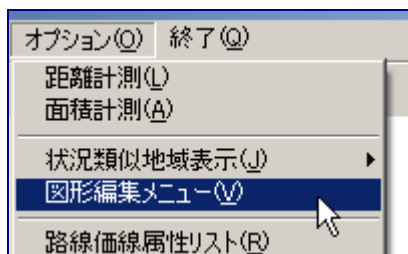
- ⑩ ⑧で「はい」をクリックした場合は、続けて標準宅地を入力することができます。⑤以降を繰り返してください。
「いいえ」をクリックした場合は、標準宅地の入力が終了します。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[標準宅地]の[新規]を左クリックして、⑤以降の操作を行ってください。

2 既存の標準宅地を移動する

(1) 標準宅地を全体的に移動する

- ① 標準宅地の○印と文字表示の位置の両方を移動したい場所の地図を表示してください。



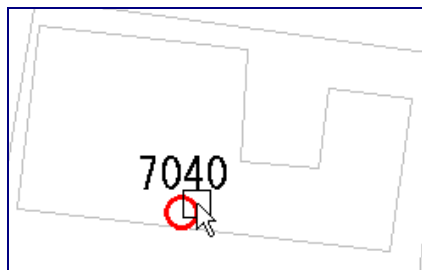
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



- ③ [図形編集メニュー]の[標準宅地]を左クリックしてください。

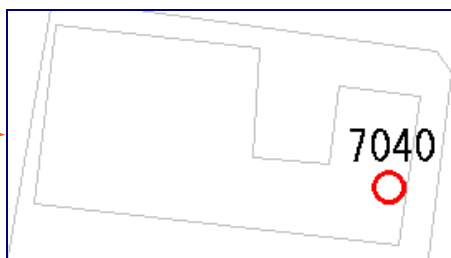
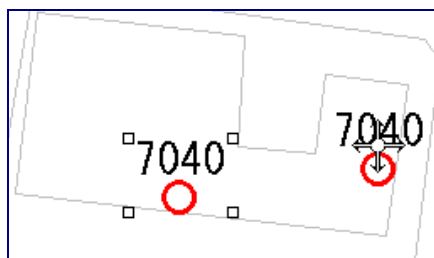


- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[全体移動]を左クリックしてください。



- ⑤ 移動したい標準宅地を左クリックしてください。標準宅地の○印と文字表示の位置を移動できる状態となります。

- ⑥ マウスを使って、移動先へ動かし左クリックしてください。

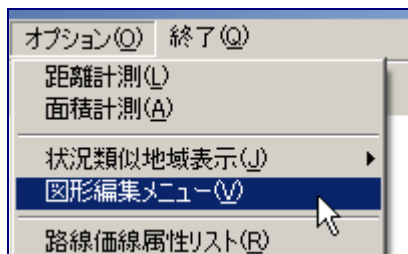


- ⑦ 印と文字表示の位置の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合は右クリックしてください。

※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[標準宅地]の[変更]の[全体移動]を左クリックしてください。

(2) 標準宅地の位置(○印)を移動する

① 移動したい標準宅地の○印のある場所の地図を表示してください。



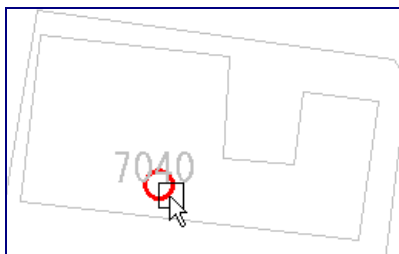
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[標準宅地]を左クリックしてください。

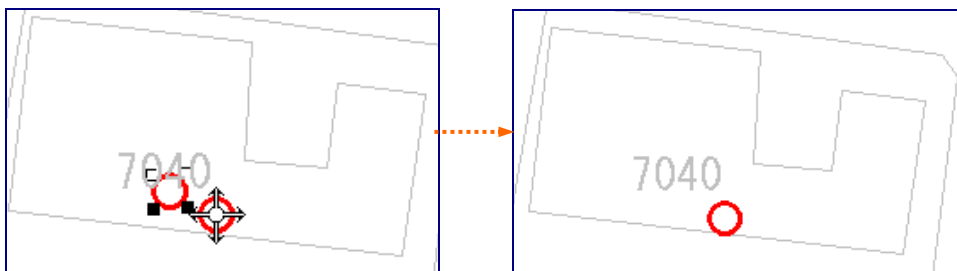


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[マーク移動]を左クリックしてください。



⑤ 移動したい標準宅地の○印を左クリックしてください。標準宅地の○印が移動できる状態となります。

- ⑥ マウスを使って、移動先へ動かし左クリックしてください。

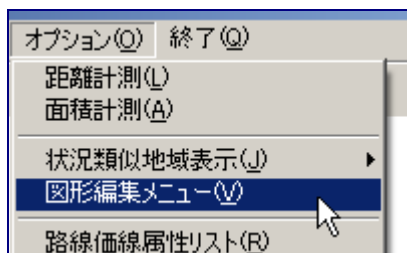


- ⑦ 標準宅地の○印の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合は右クリックしてください。

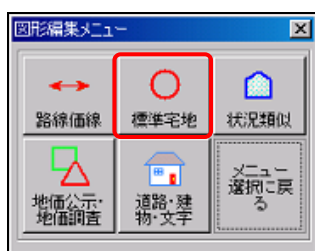
※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[標準宅地]の[変更]の[マーク移動]を左クリックしてください。

(3) 標準宅地番号及び価格の表示位置を移動する

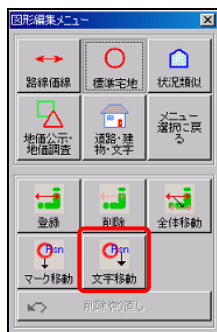
① 標準宅地番号及び価格の表示位置を移動したい場所の地図を表示してください。



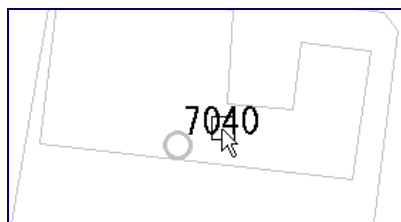
② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



③ [図形編集メニュー]の[標準宅地]を左クリックしてください。

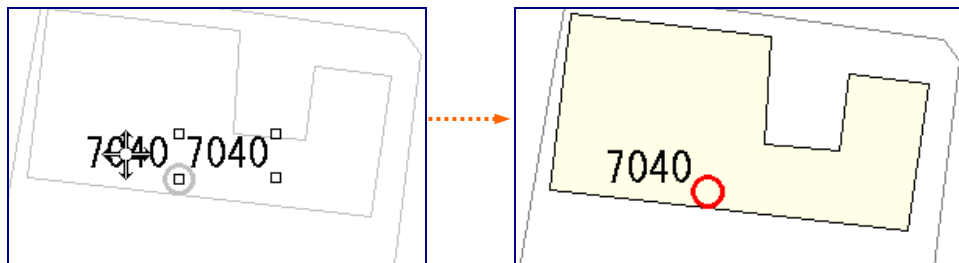


④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[文字移動]を左クリックしてください。



⑤ 移動したい標準宅地番号及び価格を左クリックしてください。標準宅地番号及び価格が移動できる状態となります。

- ⑥ マウスを使って、移動先へ動かし左クリックしてください。



- ⑦ 標準宅地番号及び価格の表示位置の移動を続けることができます。続ける場合は⑤以降の操作を行ってください。終了する場合は右クリックしてください。

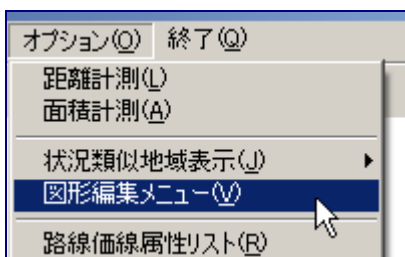
※メニューバーを使用する場合は、[図形入力]メニューの[標準宅地]の[変更]の[マーク移動]を左クリックしてください

3 標準宅地を削除する

図形データを削除すると、その属性データも削除されます。



- ① 標準宅地番号「5050」を削除します。



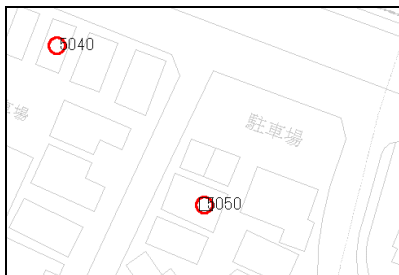
- ② [オプション]メニューの[図形編集メニュー]を左クリックしてください。



- ③ [図形編集メニュー]の[標準宅地]を左クリックしてください。



- ④ [図形編集メニュー]の下に新しいメニューが出てきますので、その中から[削除]を左クリックしてください。



- ⑤ 削除したい標準宅地を地図上で左クリックしてください。



- ⑥ 選択した標準宅地が強調表示されます。左クリックで決定してください。全てキャンセルした場合は、削除の操作自体が終了します。

- ⑦ ⑥で決定すると、画面下のメッセージエリアに「この図形を削除してよろしいですか？」と表示されます。よければ左クリックで決定、キャンセルする場合は右クリックしてください。
キャンセルした場合は⑨に進みます。

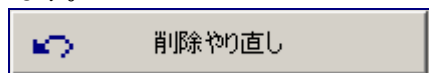


- ⑧ ⑦で決定すると、○印が削除されます。
- ⑨ 標準宅地の削除を続けることができます。続ける場合は③以降の操作を行います。削除操作を終了する場合は右クリックしてください。

※メニューバーから作業をする場合は、[図形入力]メニューの[標準宅地]の[削除]を左クリックして、⑤以降の操作を行ってください。

■ 削除した図形を元に戻すには

削除した図形を元に戻したい場合は、[図形編集メニュー]の[削除やり直し]を左クリックします。



最後に削除した図形が対象です。
削除した後に図形の新規入力を行った場合は、
削除した図形を復活させることはできません。
また、やり直しは1回限り有効です。前にさかの
ぼって復活させることはできません。

平成29年7月更新